

平成 30 年度
福祉職場への就職希望者意向調査
「報 告 書」

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

はじめに

現在、わが国では「介護離職ゼロ」の実現に向け、介護サービスの基盤整備とともに、求められる介護サービスを提供するための人材の確保が喫緊の課題となっております。

「第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について」において、都道府県が推計した介護人材の需要は、2020年度末では約216万人、2025年度末では約245万人となり、2016年度の約190万人に加え、2020年度末までに約26万人、2025年度末までに約55万人、年間6万人程度の介護人材を確保していく必要があるとされています。

国としては、今後、人材確保施策の考え方の一つとして、「人材のすそ野の拡大を進め、多様な人材の参入促進を図る」ことを掲げ、拡大していく対象としては、中高年齢者、就業していない女性、他業種などが具体例としてあげられました。

このような状況を踏まえ、本会では、福祉・介護分野への就労を希望する求職登録者の考え方、ニーズを把握するため本調査を実施するとともに、平成23年度及び26年度の同調査との比較も入れた報告書を作成いたしました。

本会福祉人材センターといたしましては、本調査を今後の無料職業紹介事業や、求人事業所側の理解促進、求人開拓等に役立てていきたいと考えております。

最後に、本調査にあたりお忙しい中ご協力いただきました求職登録者の方々に御礼申し上げますとともに、今後とも関係者の皆様のご理解、ご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

平成31年3月

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

— 目次 —

I	調査の概要	1
II	調査結果のまとめ	2
III	調査結果	
	問1. 性別について	5
	問2. 年齢について	6
	問3. 居住地について	7
	問4. 就労状況について	9
	問5. 福祉分野の勤務経験について	11
	問6. 求職活動の理由について	13
	問7. 福祉の仕事への興味について	15
	問8. 福祉分野での就職に関心を持った理由について	17
	問9. 就職先を選ぶ上で重視することについて	19
	問10. 希望する分野について	21
	問11. 希望する雇用形態について	23
	問12. 希望する勤務形態について	25
	問13. 希望する通勤時間について	27
	問14. 希望する賃金・月収について	29
	問15. 就職活動の方法について	31
	問16. 就職活動で困っていることについて	33
	問17. 福祉人材センターを知ったきっかけについて	35
	問18. 福祉人材センターからの求人情報の取得方法について	37
	問19. 福祉人材センターのサービスに求めるものについて	39
	問20. 福祉人材センターへの意見・要望について	41
IV	過去の調査との比較結果	43
V	調査票	46

I 調査の概要

1. 調査の目的

少子高齢化の進行により、福祉・介護サービスの利用ニーズは増加している状況にあり、福祉の職場ではサービスを提供する人材の確保が緊急の課題となっています。

そこで、福祉の職場への就職を希望する方々を対象に、就職にあたっての意向・就職活動の状況等を把握し、今後の求職相談、求人側の理解促進、求人開拓等に繋げていくことを目的に実施します。

2. 実施主体 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 調査対象

- (1) 福島県福祉人材センターに登録している求職登録者
(平成30年4月1日～平成30年12月28日までの期間に求職登録した方)
※ただし、在学中の方を除く
- (2) 調査期間中の「福祉のお仕事セミナー」受講者等

4. 調査期間 平成30年12月3日(月)～平成30年12月28日(金)

5. 調査票回収期限 平成30年12月28日(金)

6. 調査方法

調査票による郵送及び窓口配布によるアンケート調査とします。

- (1) 福祉人材センターから調査票を求職登録者に送付し、回答した調査票を返信用封筒に入れ福祉人材センター宛送付。
- (2) 調査期間中に本センターで就職相談をされた方に調査票を配布し、回答した調査票を返信用封筒に入れ福祉人材センター宛送付。
- (3) 調査期間中に「福祉のお仕事セミナー」を受講した方に調査票を配布し、回答した調査票を返信用封筒に入れ福祉人材センター宛送付。

7. 調査票回収状況

対象者数 : 447名
有効回収数 : 163件
回収率 : 36.5%

Ⅱ 調査結果のまとめ(平成 23 年度・平成 26 年度調査結果比較含む)

1. 登録者の状況について(過去の調査結果との比較は 43 ページ～45 ページ)

(1) 性別・年齢・居住地(5 ページ～8 ページ)

性別は、回答者全体の7割近くを「女性」が占めており、過去の調査と同様の結果となった。

回答者の年齢をみると、「50 歳代」が 36.2%、「40 歳代」が 27.6%、「60 歳以上」が 21.5%となっており、40 歳以上が合わせて 85.3%と割合が高い。その一方で、20 歳代以下の登録者は平成 23 年度に 2 割であったものが徐々に減少し、今回は約 2%の状況となった(なお、本調査は在学中の者は除いている)。逆に「60 歳以上」は平成 23 年度との比較でも比率が 4 倍近く増え、シニア層の登録者の増加が目立っている。

居住地では、「県北」「県中」が合わせて約 6 割となっている。

(2) 現在の就労状況及び勤務経験・希望分野(9 ページ～12 ページ、21 ページ)

回答者の 5 割弱が現在「無職」であり、正規・非正規を問わず「福祉の職場に勤務している」割合は約 4 割となっている。「無職」の方について男女別でみると割合に大きな差はないが、年代別にみると「50 歳代」が約 5 割、「60 歳以上」が 6 割以上と高くなっている。

福祉職場の勤務経験については、5 割以上が「勤務経験あり」と回答しており、平成 23 年度、26 年度の調査と比較すると、「経験あり」の割合が徐々に増えていることが分かる。

希望する分野では、「高齢者福祉施設」と回答した割合(45.8%)が最も高かったが、年齢が高くなるほど「不問」の割合が高くなる。

(3) 希望雇用形態及び通勤時間(23 ページ～28 ページ)

希望する雇用形態は、「正規職員」(31.5%)と「非常勤職員(パート等)」(31.5%)が同じ割合となった。また、「正規職員希望だが、条件次第で非正規職員でも良い」が 21.2%となっている。過去の調査と比較すると「正規職員」を希望する割合が減ってきている一方で、「非常勤職員(パート等)」を希望する割合が高くなってきている。男性は 5 割近くが「正規職員」を希望しているが、女性は「非常勤職員(パート等)」が 4 割以上と高かった。また、50 歳代の 4 割近く、60 歳以上の 4 割以上が「非常勤職員(パート等)」の希望であることなど、シニア層の登録者が増加することにより、希望する雇用形態の数値にも変化が生じている。

また、「勤務形態に夜勤・宿直がある場合の対応は」という問いに対し、約 6 割が「不可」と回答している。「不可」の内訳では、「女性」と「60 歳以上」の割合が高くなっている。

希望する(許容できる)通勤時間は、5 割以上が「15 分～30 分未満」と回答しており、1 時間以内を希望する割合は合わせて約 97%となっている。平成 23 年度、26 年度調査と比較しても、短時間での通勤を希望する割合が増えていることが分かる。

(4) 希望賃金・月収(29 ページ)

「15 万円～20 万円未満」希望の割合が最も高かった(30.7%)が、「5 万円～10 万円未満」を希望する割合(22.7%)も高い。これは、「非常勤職員(パート等)」を希望している女性・シニア層の割合が増えていることが原因と推測される。

一方、「20 万円～25 万円未満」、「25 万円～30 万円未満」を希望する割合も増えており、40 歳・50 歳代の家計を担う世代の割合も高いことから、求職者の二極化がうかがえる。

2. 求職活動と福祉の仕事に対する意識について

(1) 求職活動している(いた)理由(13 ページ)

最も多かった理由としては「労働条件(給与・待遇含む)が不満」(25.8%)、ついで「職場の人間関係が不満」(21.5%)が多く、現在仕事をしているが、よりよい労働条件を求めて、あるいは職場に何らかの不满があり求職活動を行っている方も多いと推測する。60 歳以上では「雇用・契約期間満了」の割合が最も高い。

(2) 福祉の仕事への興味(15 ページ)

福祉の仕事への興味を 5 段階の数字で聞いたところ、最も興味がある「5」と回答した割合が最も高かった。「3」以上の回答を合わせると約 96%となっている。

(3) 福祉分野での就職に関心を持った理由(17 ページ)

「人や社会に役立つ仕事がしたい」との回答が最も多く(50.9%)、これは男女ともにすべての年代で高い割合を示している。その他、30 歳代、40 歳代では「やりがいのある仕事である」、50 歳代では「これからの時代に必要な仕事である」、60 歳以上では「生きがい・社会参加となる」と考えている回答者が多かった。一方で「労働環境」や「給与」への関心は低く、給与等よりも仕事のやりがいを重視し福祉分野への就労を希望していることがわかる。

(4) 就職先を選ぶ上で重視する事柄(19 ページ)

「職場の人間関係や雰囲気」が 57.7%と最も高く、続いて「賃金・賞与額」(47.9%)、「通勤距離・通勤の便利さ」(47.2%)と続いた。労働条件だけではなく、働きやすさに関する項目が高い割合を示している。特に女性と 60 歳以上で「通勤距離・通勤の便利さ」を重視する傾向があることが読み取れる。

(5) 現在の就職活動(31 ページ)

どのような就職活動を行っているかの問いに対しては「ハローワークの利用」(81.0%)の割合が最も高く、次に「福祉人材センターの利用」(57.7%)、「求人情報誌や新聞・広告の利用」(42.9%)となった。

(6) 求職登録者が就職活動にあたり困っている点(33 ページ)

「年齢制限」(29.4%)が最も多く、次に「希望にあう勤務形態(勤務時間・休日等)が少ない」(27.0%)、「勤務先が遠い」(23.3%)と続いている。「年齢制限」と回答した方の 8 割以上が「50 歳代」「60 歳以上」で占められており、年齢が求人側とのミスマッチに繋がっているケースが多いと推測できる。

3. 福祉人材センターの利用について

(1) 福祉人材センターを知ったきっかけ(35 ページ)

福祉人材センターを知ったきっかけは、「ハローワークからの紹介」が最も多い(51.5%)。主な理由としては、本会において、県内各地のハローワークと連携したセミナーや相談会等を実施していることで、求職者に福祉人材センターの存在が浸透してきていることが考えられる。

(2) 福祉人材センターにおける求人情報取得方法(37 ページ)

福祉人材センターにおける求人情報の取得方法については、本会から求職者に「月 2 回送付する求人情報(印刷物)のみ」の割合が約 6 割と最も高かった。一方、インターネットでのみ情報を取得している方の割合は 2 割弱となっている。

また、福祉人材センターの求人情報の取得方法を年代別に見ると、30 歳以下の半数は、インターネットを活用(印刷物との併用含む)して求人情報を取得している。

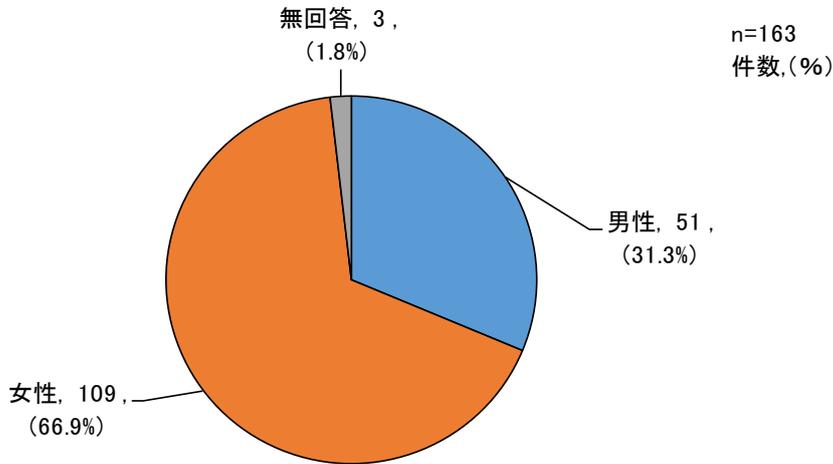
(3) 福祉人材センターのサービスとして求めるもの(39 ページ)

福祉人材センターのサービスとして求めるものは、「求人情報の送付」の割合が 5 割以上と最も高い。20 歳代、30 歳代では「個別の就職支援(マッチング)」を求める割合も高い。

Ⅲ 調査結果

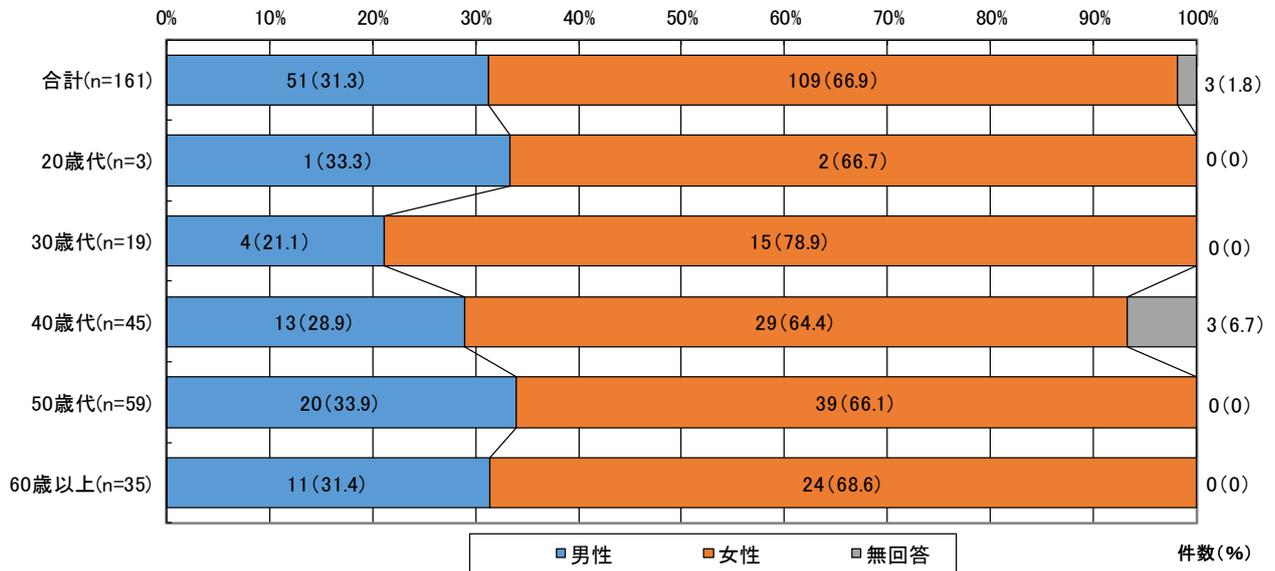
問1 あなたの「性別」は？(○は1つ)

図表 1-1 単純集計



調査対象者の性別については「女性」が 66.9%と高い比率となった。

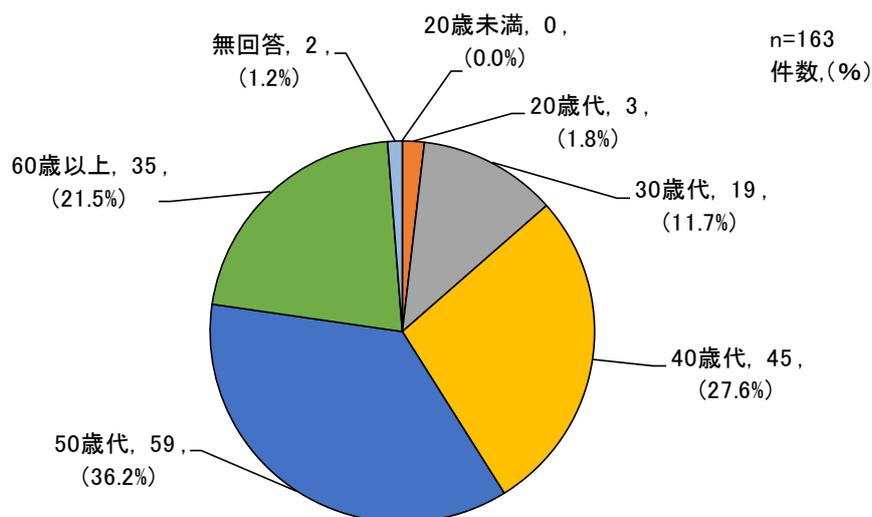
図表 1-2 年齢別クロス集計



調査対象者の性別について年齢別にみると、すべての年齢で「女性」の割合が 60%以上となり、特に「30 歳代」では 78.9%と高かった。

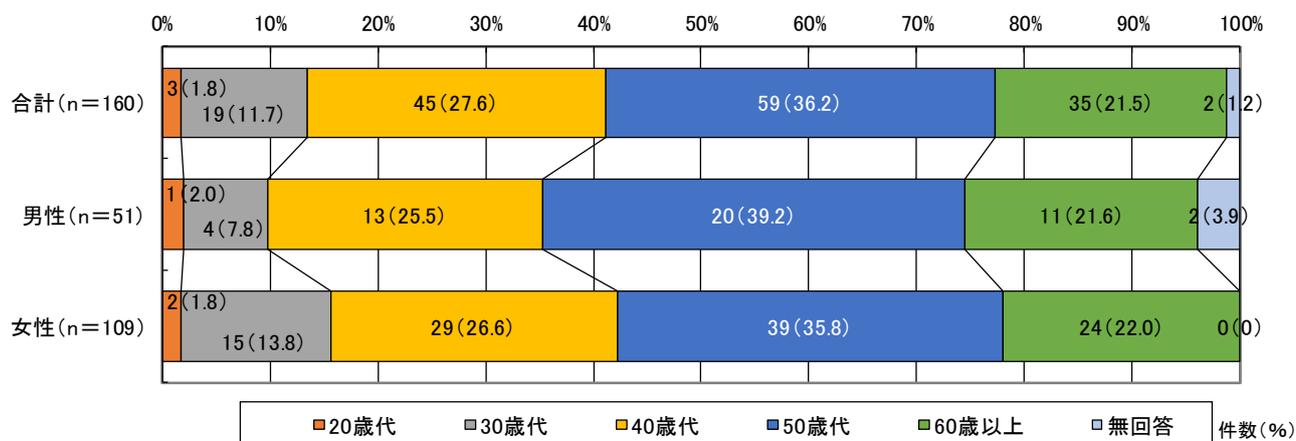
問2 あなたの「満年齢」は？(平成30年12月1日現在/○は1つ)

図表 2-1 単純集計



対象者の年齢については、「50歳代」が36.2%、ついで「40歳代」が27.6%、「60歳以上」が21.5%と高い割合を示した。また、40歳代以上の登録者が合わせて85.3%と高い割合となっている。

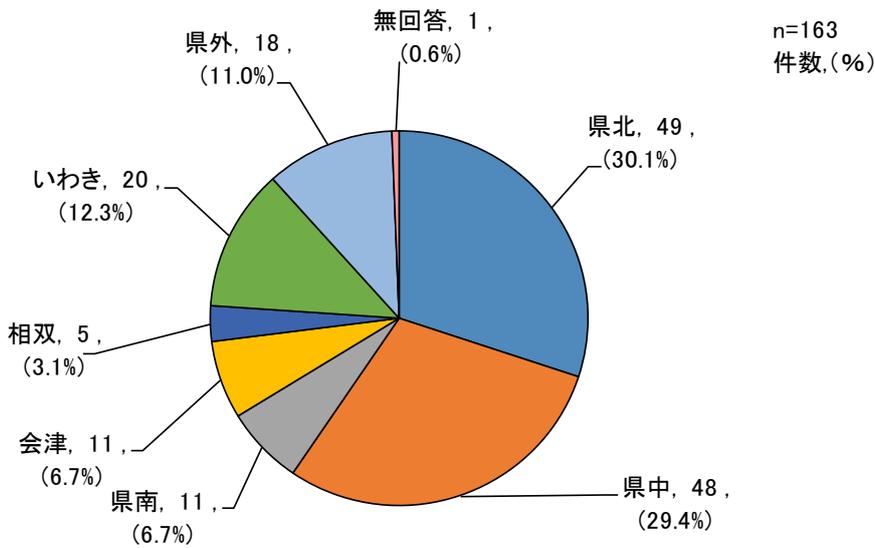
図表 2-2 性別クロス集計



年齢を男女別でみると、男性・女性ともに「50歳代」の割合が最も高く、ついで「40歳代」であった。

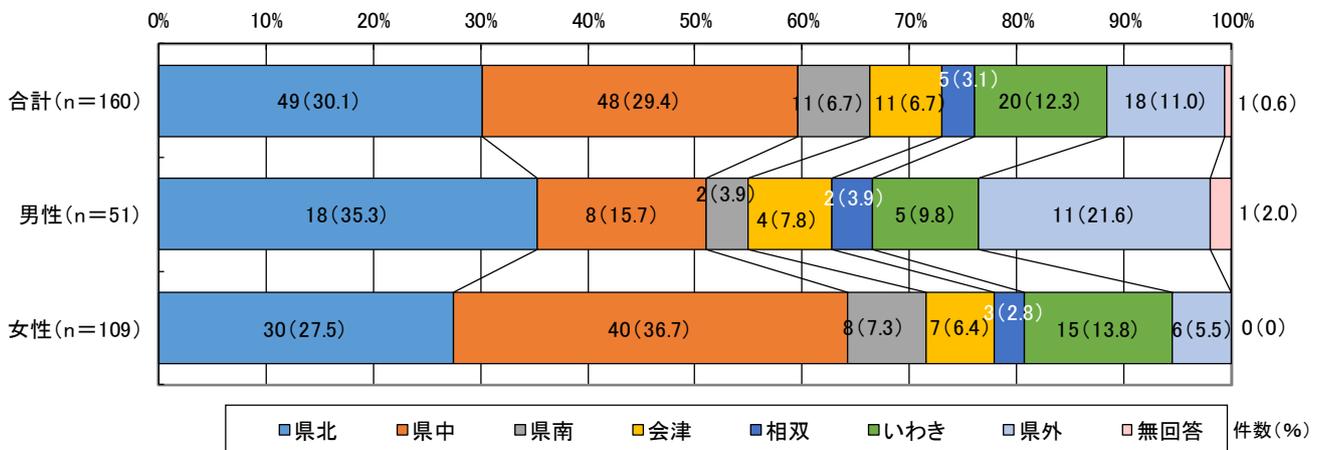
問3 あなたが現在住んでいる「地域」は？(○は1つ)

図表 3-1 単純集計



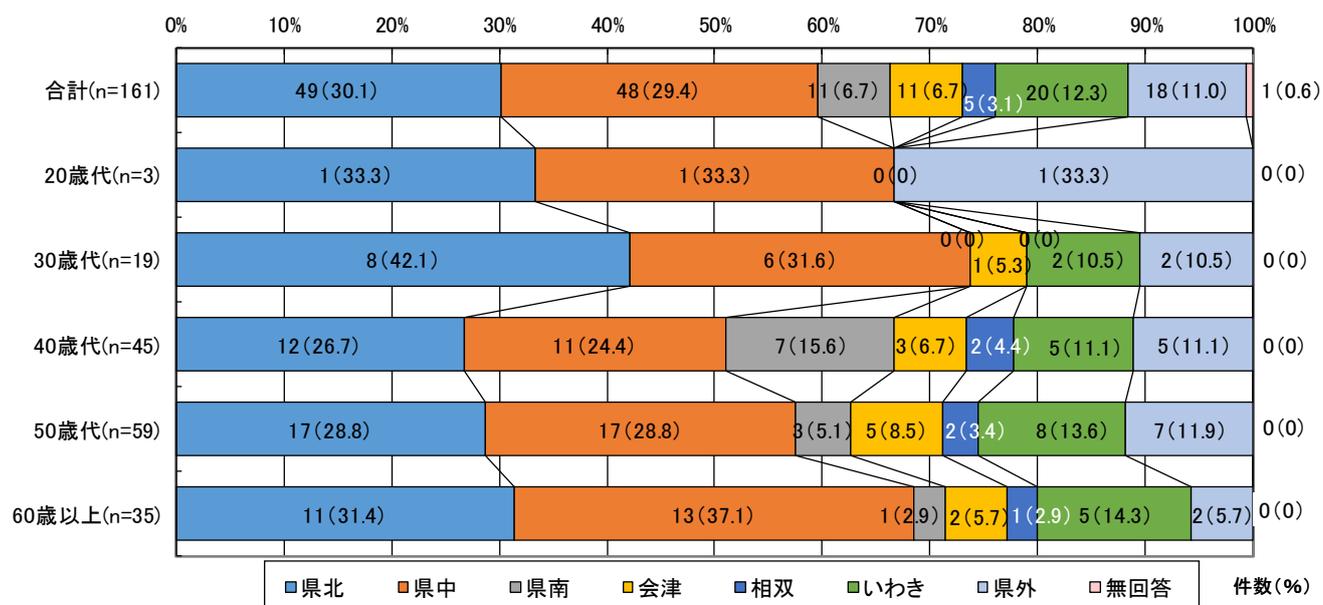
居住地域については「県北」の割合が最も高く30.1%、ついで「県中」が29.4%、「いわき」の12.3%となった。一方、「相双」では登録者が少ない状況となっている。

図表 3-2 性別クロス集計



居住地域を男女別にみると、男性では「県北」、女性では「県中」の割合が高くなっている。

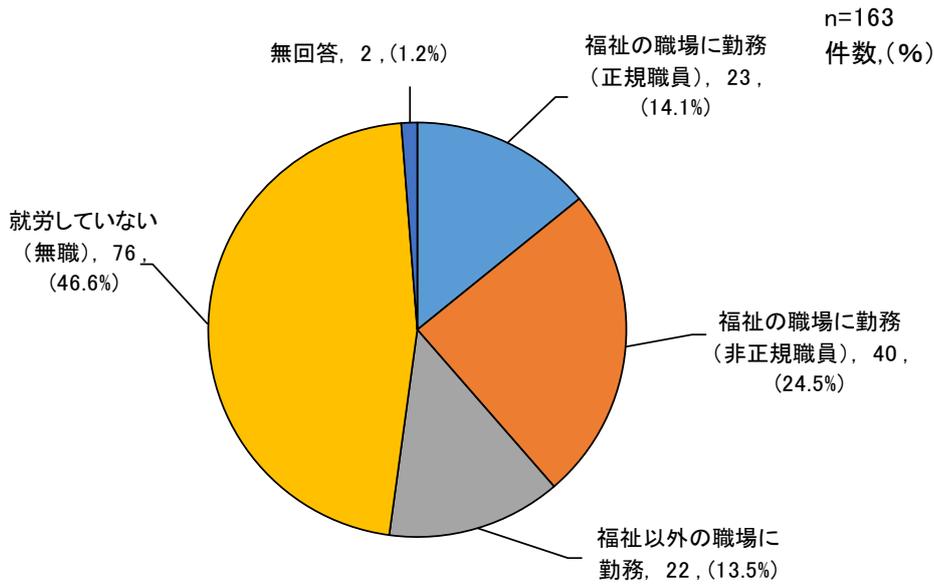
図表 3-3 年齢別クロス集計



居住地域を年代別にみると、すべての年代で「県北」、「県中」の割合が高い。40歳代では「県南」の割合も高くなっている。

問 4 あなたの現在の就労状況は？(○は1つ)

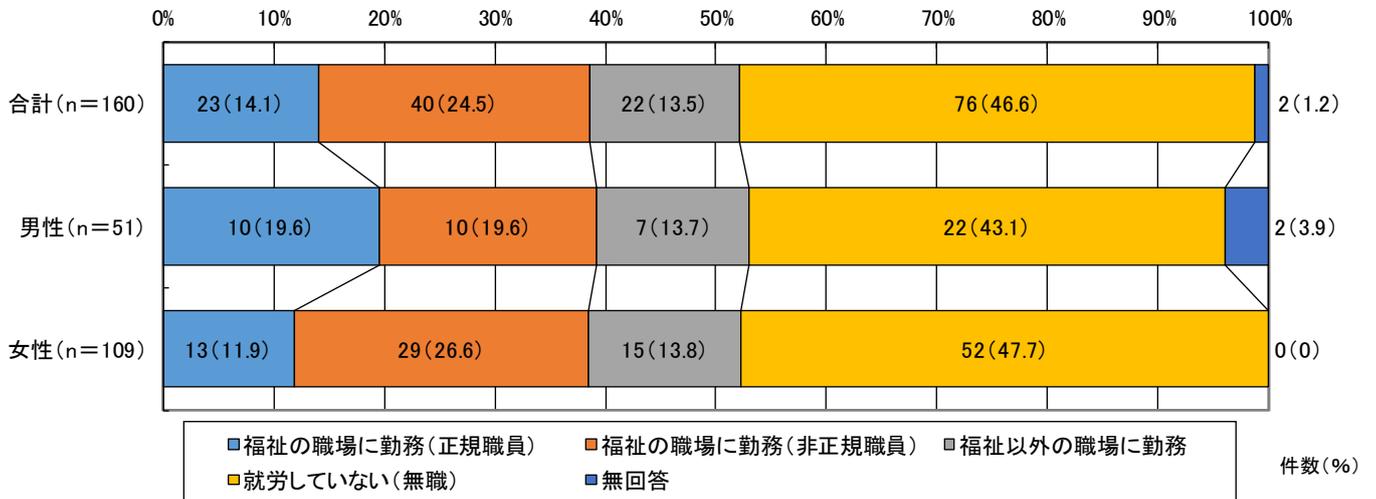
図表 4-1 単純集計



対象者の現在の就労状況については、「就労していない」割合が 46.6%と最も高く、ついで「福祉の職場に勤務(非正規職員)」しているが 24.5%となっている。

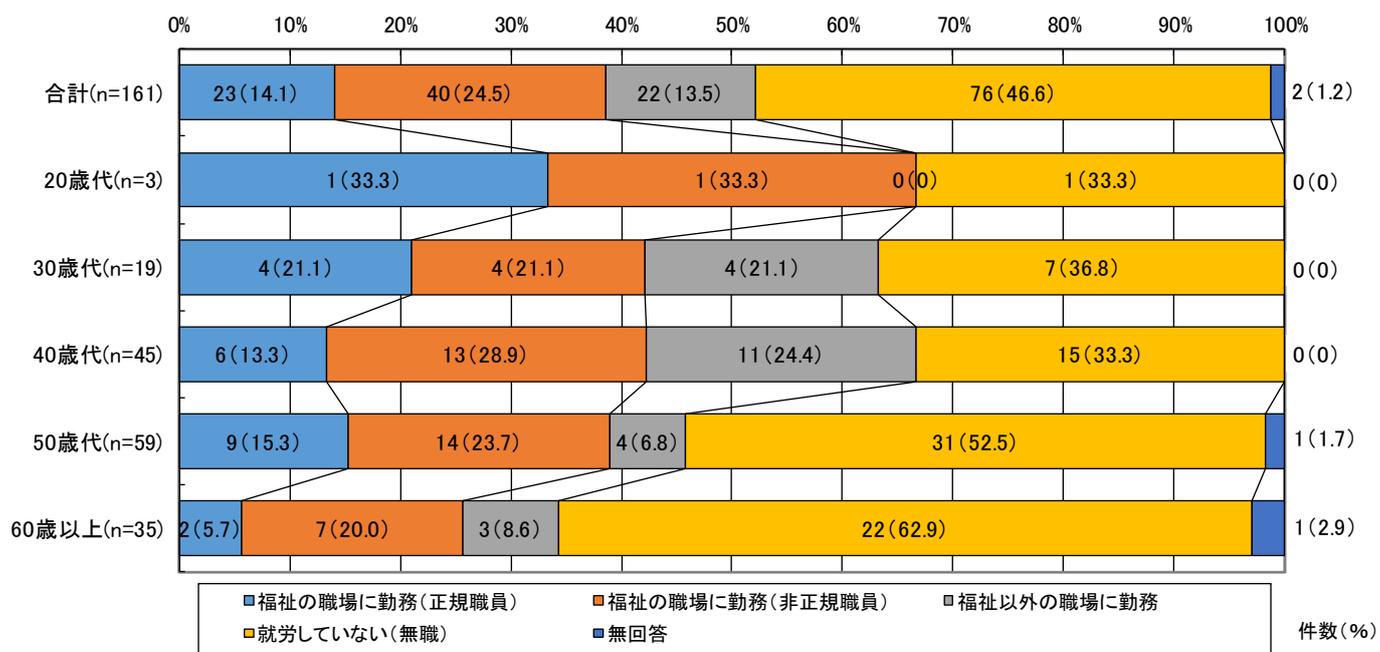
正規職員で「福祉の職場に勤務」している割合は、14.1%であった。

図表 4-2 性別クロス集計



現在の就労状況を男女別にみると、男性は、福祉の職場に勤務している方で正規職員と非正規職員の割合が同じであるが、女性は非正規職員の割合が高くなっている。

図表 4-3 年齢別クロス集計

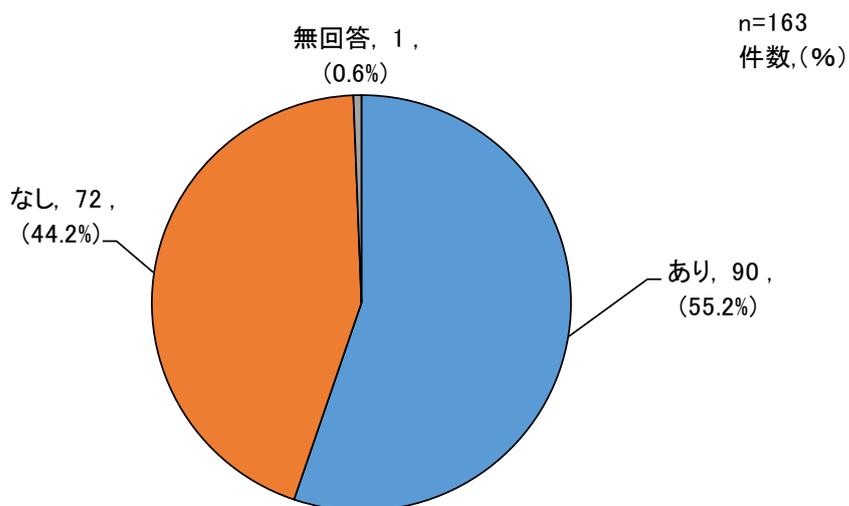


現在の就労状況を年代別にみると「30 歳代」、「40 歳代」が福祉職にかかわらず、いずれかで勤務している割合が 6 割を超えているが、50 歳代以上では「就労していない」の割合が最も高い。

「福祉の職場に勤務」している割合は、「60 歳以上」以外では約 4 割の状況となった。

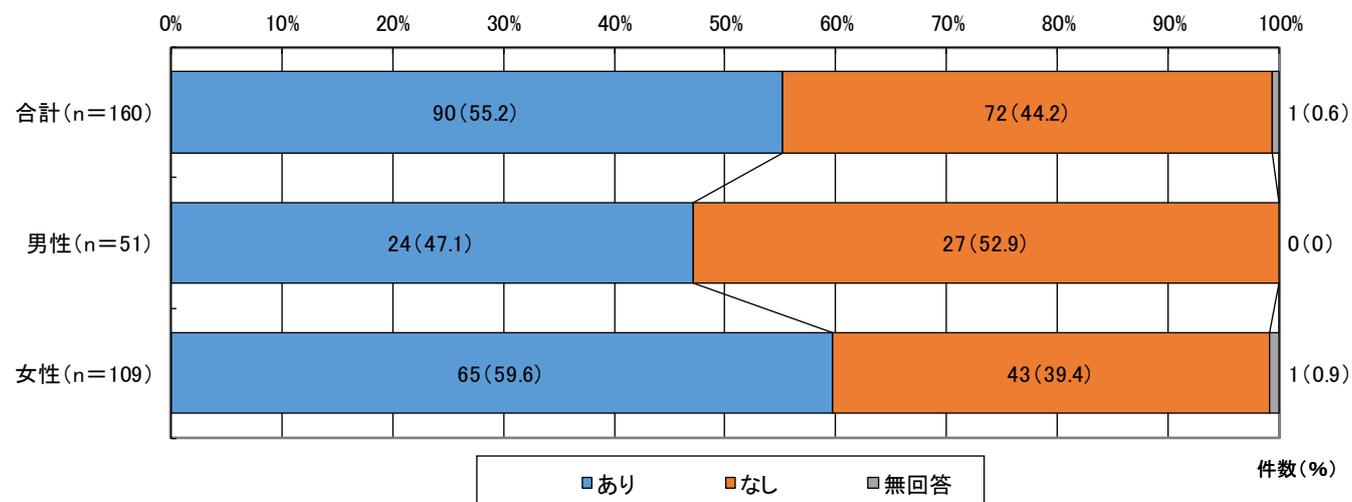
問 5 福祉分野における勤務経験は？(○は1つ)

図表 5-1 単純集計



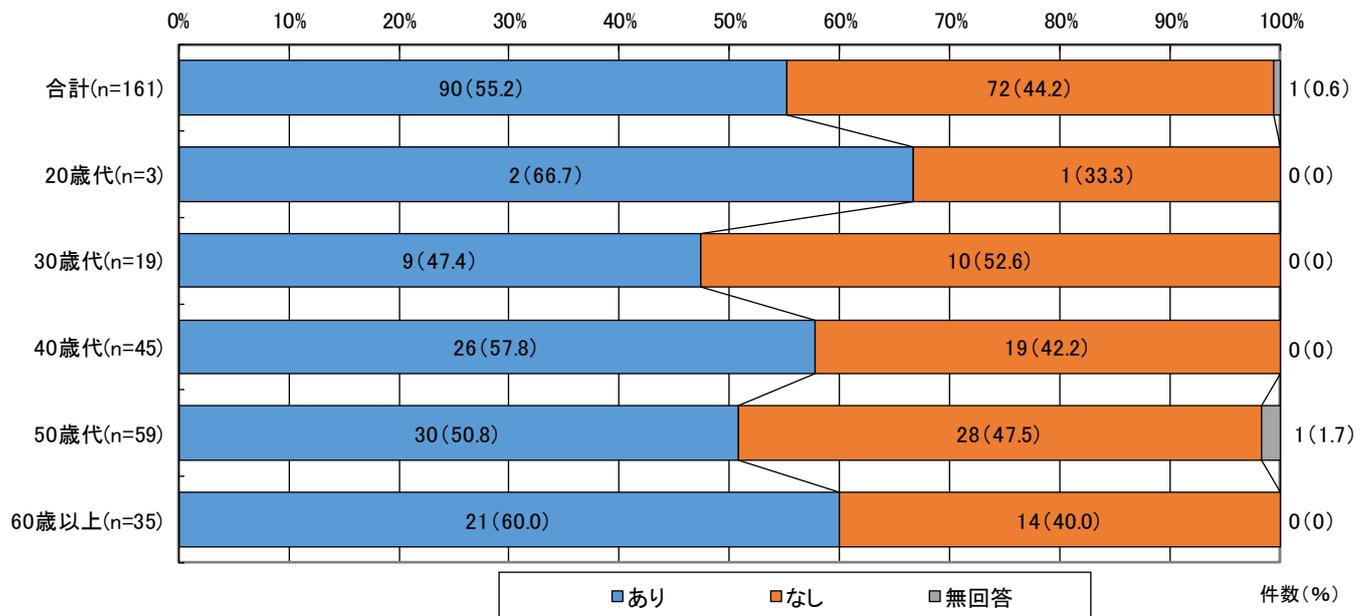
福祉分野における勤務経験については、「経験あり」が 55.2%、「経験なし」が 44.2%となった。

図表 5-2 性別クロス集計



福祉分野の勤務経験を男女別で見ると、男性のほうが福祉分野での勤務経験のない方の割合が若干高かった。

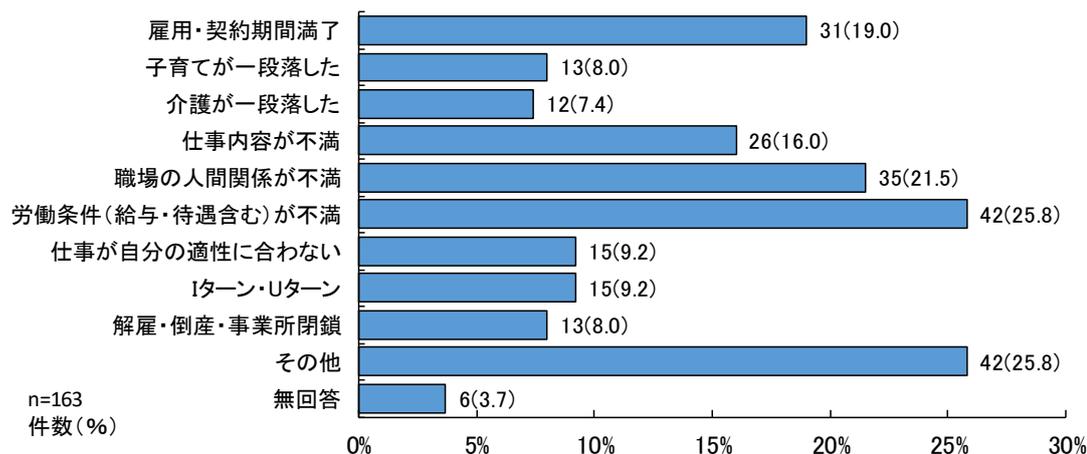
図表 5-3 年齢別クロス集計



福祉分野の勤務経験を年代別で見ると、30歳代では「経験なし」が「経験あり」を上回ったものの、その他の年代では「経験あり」が5割を超えている。

問 6 求職活動をしている(いた)理由は？(〇は3つまで)

図表 6-1 単純集計



求職活動している(いた)理由を尋ねたところ、「労働条件(給与・待遇含む)が不満」、「その他」の割合が最も高く、ついで「職場の人間関係が不満」、「雇用・契約期間満了」となった。「その他」の主な理由としては、「資格を取得し、活かしたいため」、「人に役立つ仕事がしたい」、「スキルアップのため」などがあげられた。

図表 6-2 性別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	雇用・契約 期間満了	子育てが 一段落した	介護が 一段落した	仕事内容が 不満	職場の人間 関係が不満	労働条件 (給与・待 遇含む) が不満	仕事が 自分の適性 に合わない	Iターン・ Uターン	解雇・倒産・ 事業所閉鎖	その他	無回答
合計	160	31	13	12	26	35	42	15	15	13	42	6
	100.0	19.0	8.0	7.4	16.0	21.5	25.8	9.2	9.2	8.0	25.8	3.7
男性	51	11	-	2	10	15	12	7	7	5	14	2
	100.0	21.6	-	3.9	19.6	29.4	23.5	13.7	13.7	9.8	27.5	3.9
女性	109	20	13	10	16	20	29	7	8	6	28	4
	100.0	18.3	11.9	9.2	14.7	18.3	26.6	6.4	7.3	5.5	25.7	3.7

求職活動している理由を男女別でみると、男性では、「職場の人間関係が不満」、女性では「労働条件(給与・待遇含む)が不満」の割合が最も高かった。ついで、男性では「労働条件(給与・待遇含む)が不満」、女性では「職場の人間関係が不満」が高く、男女ともこの2つが大きな理由となっている。

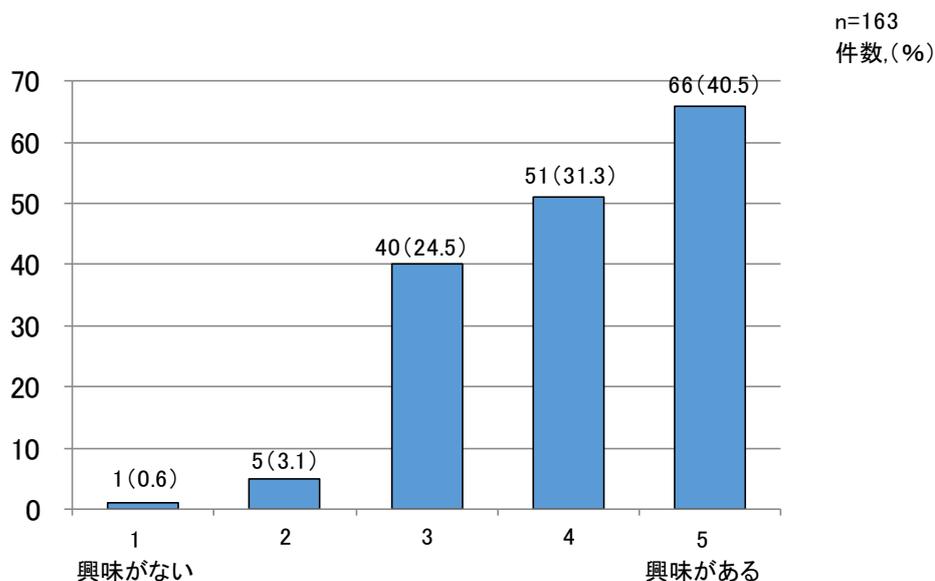
図表 6-3 年齢別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	雇用・契約 期間満了	子育てが 一段落した	介護が 一段落した	仕事内容が 不満	職場の人間 関係が不満	労働条件 (給与・待 遇含む) が不満	仕事が 自分の適性 に合わない	Iターン・ Uターン	解雇・倒産・ 事業所閉鎖	その他	無回答
合計	161	31	13	12	26	35	42	15	15	13	42	6
	100.0	19.0	8.0	7.4	16.0	21.5	25.8	9.2	9.2	8.0	25.8	3.7
20歳代	3	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	1
	100.0	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	33.3
30歳代	19	3	2	-	6	6	7	1	2	1	4	1
	100.0	15.8	10.5	-	31.6	31.6	36.8	5.3	10.5	5.3	21.1	5.3
40歳代	45	7	5	1	8	9	14	5	4	5	10	2
	100.0	15.6	11.1	2.2	17.8	20.0	31.1	11.1	8.9	11.1	22.2	4.4
50歳代	59	9	3	6	6	13	16	3	6	4	18	2
	100.0	15.3	5.1	10.2	10.2	22.0	27.1	5.1	10.2	6.8	30.5	3.4
60歳以上	35	11	3	5	4	5	4	5	2	3	9	-
	100.0	31.4	8.6	14.3	11.4	14.3	11.4	14.3	5.7	8.6	25.7	-

求職活動している理由を年代別にみると、30歳代、40歳代では「労働条件(給与・待遇含む)が不満」の割合が最も高く、「職場の人間関係が不満」、「仕事内容が不満」という理由もあげられている。50歳代も同様の傾向であるが、60歳以上では「雇用・契約期間満了」が最も高い割合となっている。

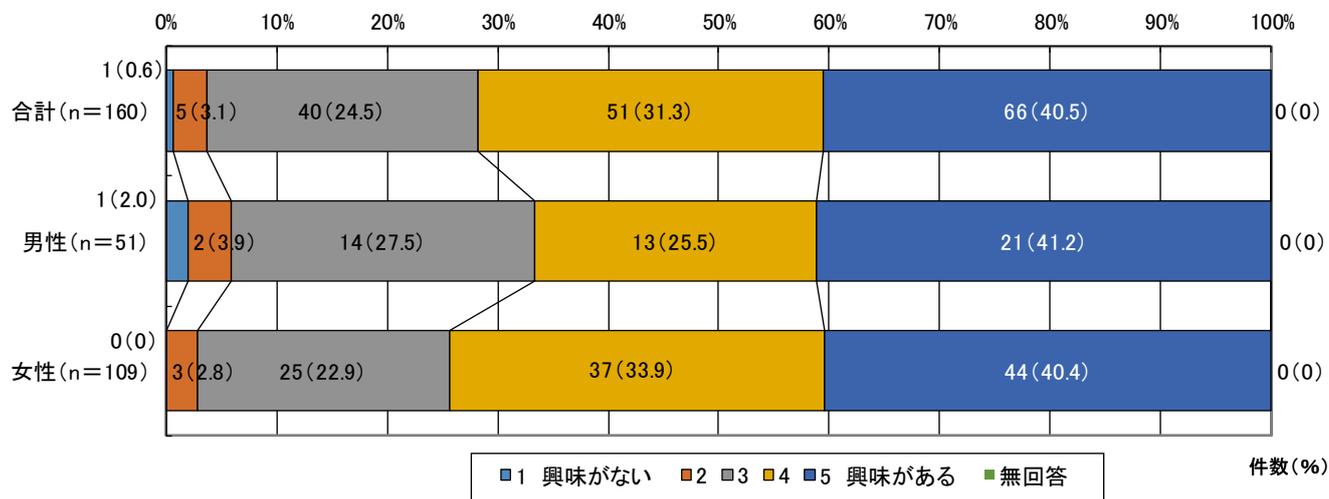
問 7 福祉の仕事への興味はどの程度あるか？(当てはまる番号に○)

図表 7-1 単純集計



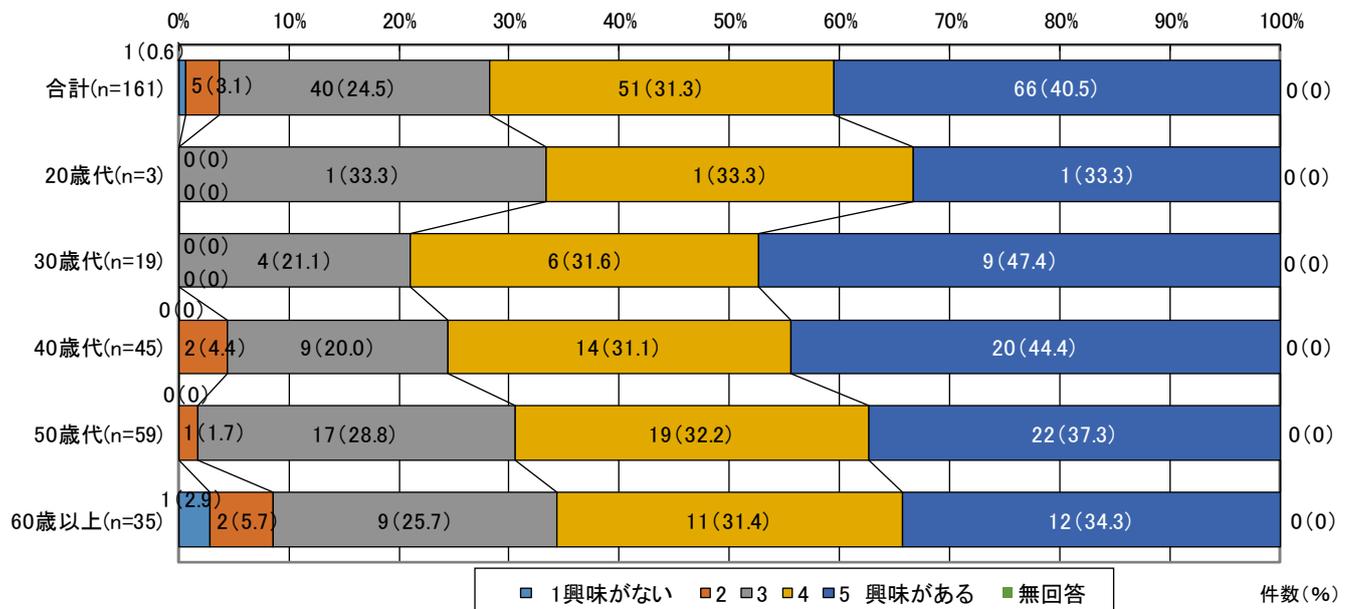
福祉の仕事への興味を 5 段階の数字で聞いたところ、最も興味がある「5」の割合が 40.5%と最も高かった。ついで「4」、「3」の順で高く、「3」以上の回答を合わせると約 96%となっている。興味がないという「2」、「1」は「3」以上と比較して大幅に低かった。

図表 7-2 性別クロス集計



男女ともに「5」が最も高く、ついで男性は「3」、女性は「4」が高かった。男女とも「2」、「1」の割合は低い。

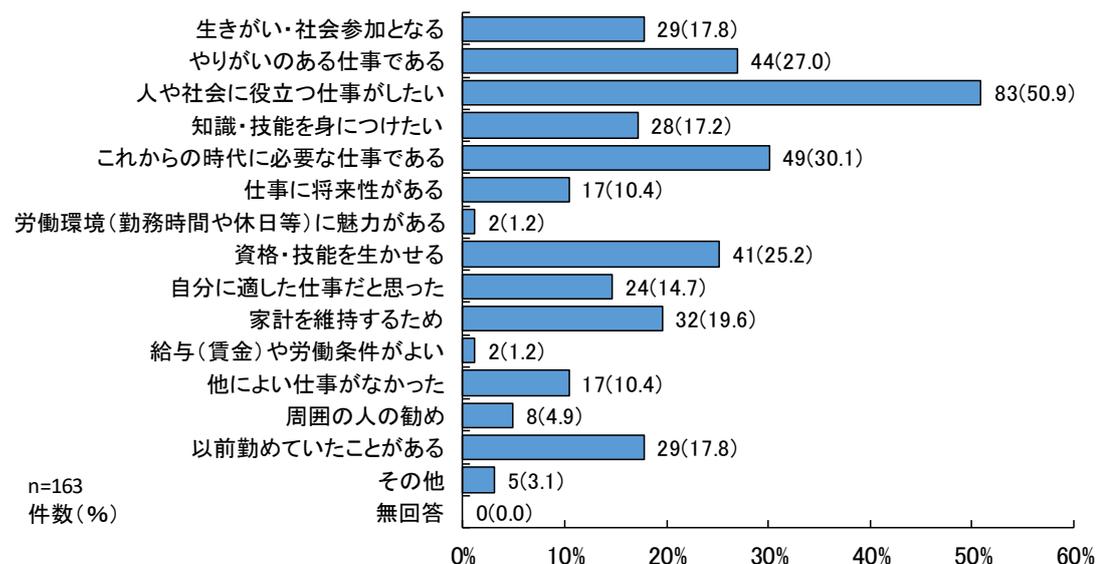
図表 7-3 年齢別クロス集計



いずれの年代とも「5」が最も高く、ついで「4」、「3」の順となった。60歳以上では、他の年代と比較して「2」、「1」の割合が高い。

問 8 福祉分野での就職に関心を持った理由は？（○は3つまで）

図表 8-1 単純集計



福祉分野での就職を希望する理由として、「人や社会に役立つ仕事をしたい」という割合が最も高く、ついで「これからの時代に必要な仕事である」、「やりがいのある仕事である」となった。

一方、「給与(賃金)や労働条件がよい」からの理由は少ない結果となった。

図表 8-2 性別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	生きがい・社会参加となる	やりがいのある仕事である	人や社会に役立つ仕事をしたい	知識・技能を身につけたい	これからの時代に必要な仕事である	仕事に将来性がある	労働環境(勤務時間や休日等)に魅力がある	資格・技能を生かせる	自分に適した仕事だと思った	家計を維持するため
合計	160 100.0	29 17.8	44 27.0	83 50.9	28 17.2	49 30.1	17 10.4	2 1.2	41 25.2	24 14.7	32 19.6
男性	51 100.0	11 21.6	11 21.6	29 56.9	9 17.6	20 39.2	4 7.8	1 2.0	8 15.7	7 13.7	8 15.7
女性	109 100.0	18 16.5	33 30.3	54 49.5	18 16.5	28 25.7	12 11.0	1 0.9	32 29.4	17 15.6	23 21.1

上段:度数 下段:%	給与(賃金)や労働条件がよい	他によい仕事になかった	周囲の人の勧め	以前勤めていたことがある	その他	無回答
合計	2 1.2	17 10.4	8 4.9	29 17.8	5 3.1	-
男性	1 2.0	10 19.6	5 9.8	9 17.6	1 2.0	-
女性	1 0.9	6 5.5	3 2.8	20 18.3	4 3.7	-

福祉分野での就職を希望する理由を男女別でみると、男女ともに「人や社会に役立つ仕事をしたい」の割合が最も高く、ついで男性は「これからの時代に必要な仕事である」、女性は「やりがいのある仕事である」と答えた割合が高かった。

図表 8-3 年齢別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

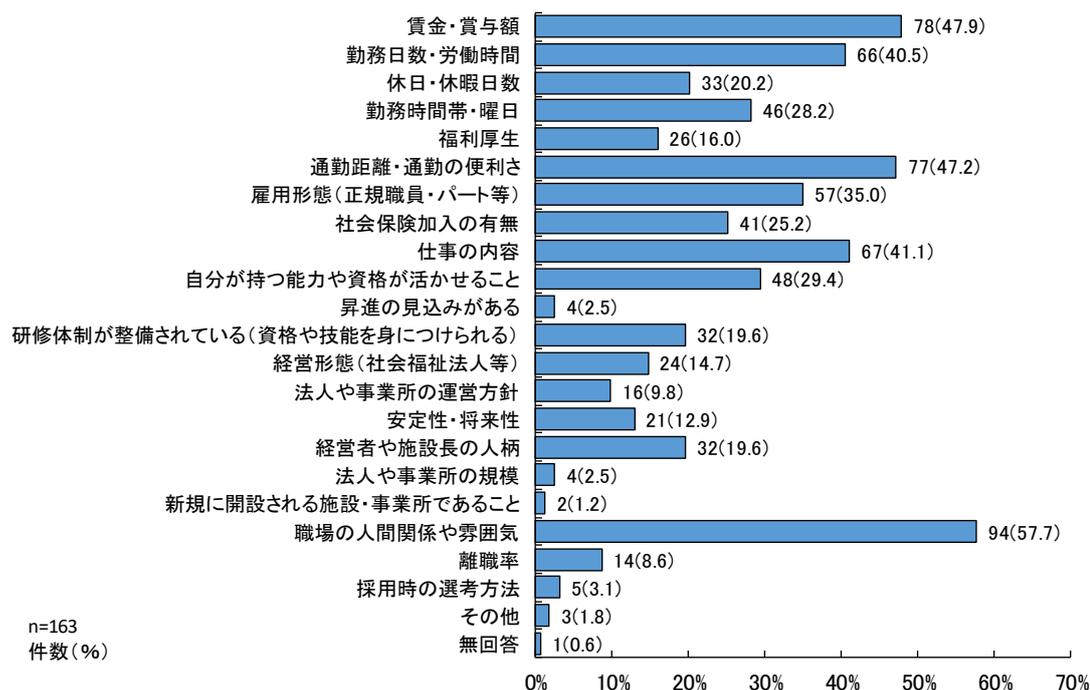
上段:度数 下段:%	合計	生きがい・ 社会参加と なる	やりがいの ある仕事で ある	人や社会に 役立つ仕事 がしたい	知識・技能 を身につけ たい	これからの 時代に 必要な仕事 である	仕事に将来 性がある	労働環境 (勤務時間 や休日等) に魅力がある	資格・技能 を生かせる	自分に適した 仕事だと思 った	家計を維持 するため
合計	161	29	44	83	28	49	17	2	41	24	32
	100.0	17.8	27.0	50.9	17.2	30.1	10.4	1.2	25.2	14.7	19.6
20歳代	3	-	1	3	1	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	33.3	100.0	33.3	33.3	-	-	-	-	-
30歳代	19	-	7	9	5	5	4	1	7	3	1
	100.0	-	36.8	47.4	26.3	26.3	21.1	5.3	36.8	15.8	5.3
40歳代	45	4	18	22	10	13	4	-	15	2	8
	100.0	8.9	40.0	48.9	22.2	28.9	8.9	-	33.3	4.4	17.8
50歳代	59	13	10	28	9	20	5	-	13	9	15
	100.0	22.0	16.9	47.5	15.3	33.9	8.5	-	22.0	15.3	25.4
60歳以上	35	12	7	19	3	9	4	1	6	8	8
	100.0	34.3	20.0	54.3	8.6	25.7	11.4	2.9	17.1	22.9	22.9

上段:度数 下段:%	給与(賃 金)や労働 条件がよい	他によい 仕事があ りなかつた	周囲の人の 勧め	以前 勤めていた ことがある	その他	無回答
合計	2	17	8	29	5	-
	1.2	10.4	4.9	17.8	3.1	-
20歳代	-	1	-	-	-	-
	-	33.3	-	-	-	-
30歳代	1	1	-	4	1	-
	5.3	5.3	-	21.1	5.3	-
40歳代	1	6	4	7	1	-
	2.2	13.3	8.9	15.6	2.2	-
50歳代	-	6	3	8	2	-
	-	10.2	5.1	13.6	3.4	-
60歳以上	-	3	1	10	1	-
	-	8.6	2.9	28.6	2.9	-

福祉分野での就職を希望する理由を年代別で見ると、すべての年代で「人や社会に役立つ仕事をしたい」の割合が最も高かった。ついで、30歳代、40歳代では「やりがいがある仕事である」、50歳代では「これからの時代に必要な仕事である」、60歳以上では「いきがい・社会参加となる」と答えた割合が高い。

問9 就職先を選ぶ上で「重視」することは？(○は5つまで)

図表9-1 単純集計



就職先を選ぶ上で「重視」することについては、「職場の人間関係や雰囲気」の割合が最も高く、ついで「賃金・賞与額」、「通勤距離・通勤の便利さ」、「仕事の内容」の順となった。

図表9-2 性別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	賃金・賞与額	勤務日数・労働時間	休日・休暇日数	勤務時間帯・曜日	福利厚生	通勤距離・通勤の便利さ	雇用形態(正規職員・パート等)	社会保険加入の有無	仕事の内容	自分が持つ能力や資格が活かせること	昇進の見込みがある
合計	160 100.0	78 47.9	66 40.5	33 20.2	46 28.2	26 16.0	77 47.2	57 35.0	41 25.2	67 41.1	48 29.4	4 2.5
男性	51 100.0	23 45.1	17 33.3	16 31.4	10 19.6	10 19.6	20 39.2	16 31.4	15 29.4	18 35.3	14 27.5	1 2.0
女性	109 100.0	53 48.6	49 45.0	17 15.6	36 33.0	15 13.8	57 52.3	39 35.8	25 22.9	47 43.1	34 31.2	3 2.8

上段:度数 下段:%	研修体制が整備されている(資格や技能を身につけられる)	経営形態(社会福祉法人等)	法人や事業所の運営方針	安定性・将来性	経営者や施設長の人柄	法人や事業所の規模	新規に開設される施設・事業所であること	職場の人間関係や雰囲気	離職率	採用時の選考方法	その他	無回答
合計	32 19.6	24 14.7	16 9.8	21 12.9	32 19.6	4 2.5	2 1.2	94 57.7	14 8.6	5 3.1	3 1.8	1 0.6
男性	12 23.5	7 13.7	7 13.7	4 7.8	6 11.8	1 2.0	1 2.0	29 56.9	5 9.8	4 7.8	1 2.0	-
女性	20 18.3	16 14.7	9 8.3	17 15.6	26 23.9	3 2.8	1 0.9	63 57.8	9 8.3	1 0.9	2 1.8	1 0.9

就職先を選ぶ上で「重視」することを男女別にみると、男女ともに「職場の人間関係や雰囲気」の割合が最も高く、ついで男性は「賃金・賞与額」、女性は「通勤距離・通勤の便利さ」となっている。

図表 9-3 年齢別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	賃金・ 賞与額	勤務日数・ 労働時間	休日・ 休暇日数	勤務時間 帯・曜日	福利厚生	通勤距離・ 通勤の 便利さ	雇用形態 (正規職 員・パート 等)	社会保険加 入の有無	仕事の内容	自分が持つ 能力や資格 が活かせる こと	昇進の見込 みがある
合計	161	78	66	33	46	26	77	57	41	67	48	4
	100.0	47.9	40.5	20.2	28.2	16.0	47.2	35.0	25.2	41.1	29.4	2.5
20歳代	3	2	1	1	-	2	1	-	-	1	2	-
	100.0	66.7	33.3	33.3	-	66.7	33.3	-	-	33.3	66.7	-
30歳代	19	11	6	7	2	8	9	7	5	8	4	2
	100.0	57.9	31.6	36.8	10.5	42.1	47.4	36.8	26.3	42.1	21.1	10.5
40歳代	45	21	14	8	16	8	17	15	14	17	13	1
	100.0	46.7	31.1	17.8	35.6	17.8	37.8	33.3	31.1	37.8	28.9	2.2
50歳代	59	30	27	9	15	4	26	22	15	26	15	1
	100.0	50.8	45.8	15.3	25.4	6.8	44.1	37.3	25.4	44.1	25.4	1.7
60歳以上	35	12	17	7	12	3	24	12	7	14	14	-
	100.0	34.3	48.6	20.0	34.3	8.6	68.6	34.3	20.0	40.0	40.0	-

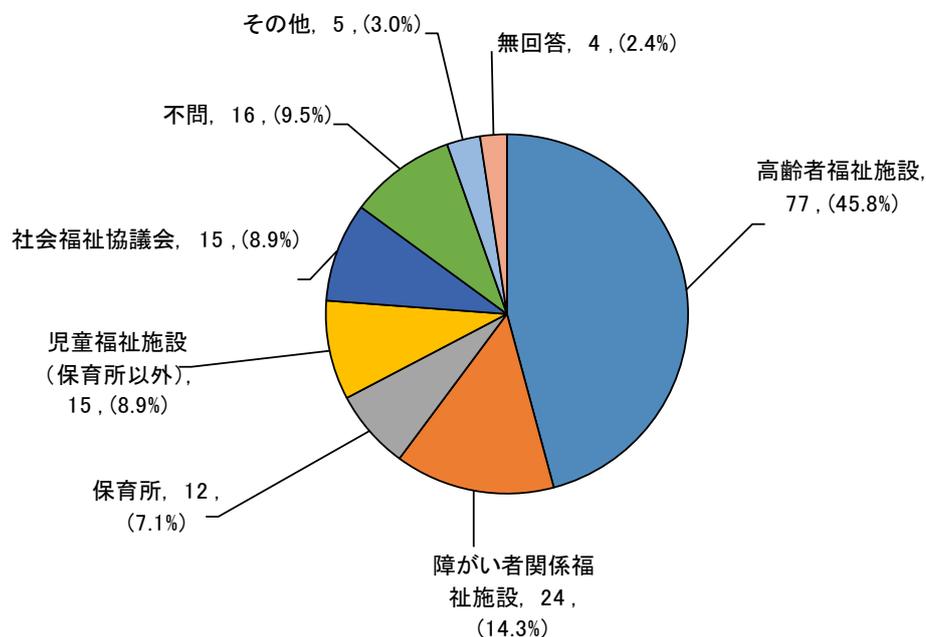
上段:度数 下段:%	研修体制が 整備されてい る(資格や 技能を身に つけられる)	経営形態 (社会福祉 法人等)	法人や事業 所の運営 方針	安定性・ 将来性	経営者や 施設長の 人柄	法人や 事業所の 規模	新規に開設 される施設・ 事業所 であること	職場の人間 関係や 雰囲気	離職率	採用時の 選考方法	その他	無回答
合計	32	24	16	21	32	4	2	94	14	5	3	1
	19.6	14.7	9.8	12.9	19.6	2.5	1.2	57.7	8.6	3.1	1.8	0.6
20歳代	1	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-
	33.3	-	33.3	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
30歳代	5	2	-	2	5	-	-	15	2	-	-	-
	26.3	10.5	-	10.5	26.3	-	-	78.9	10.5	-	-	-
40歳代	10	5	4	7	8	1	1	26	4	-	2	1
	22.2	11.1	8.9	15.6	17.8	2.2	2.2	57.8	8.9	-	4.4	2.2
50歳代	11	7	7	9	14	-	-	37	7	1	1	-
	18.6	11.9	11.9	15.3	23.7	-	-	62.7	11.9	1.7	1.7	-
60歳以上	5	10	3	3	5	3	1	13	-	4	-	-
	14.3	28.6	8.6	8.6	14.3	8.6	2.9	37.1	-	11.4	-	-

就職先を選ぶ上で「重視」することを年代別にみると、50歳代以下では「職場の人間関係や雰囲気」の割合が最も高かったが、60歳以上では「通勤距離・通勤の便利さ」が最も高い結果となった。ついで、50歳代以下では「賃金・賞与額」、60歳以上では「勤務日数・労働時間」となっている。

問 10 あなたが最も希望する福祉職場の分野は？(○は1つ)

図表 10-1 単純集計

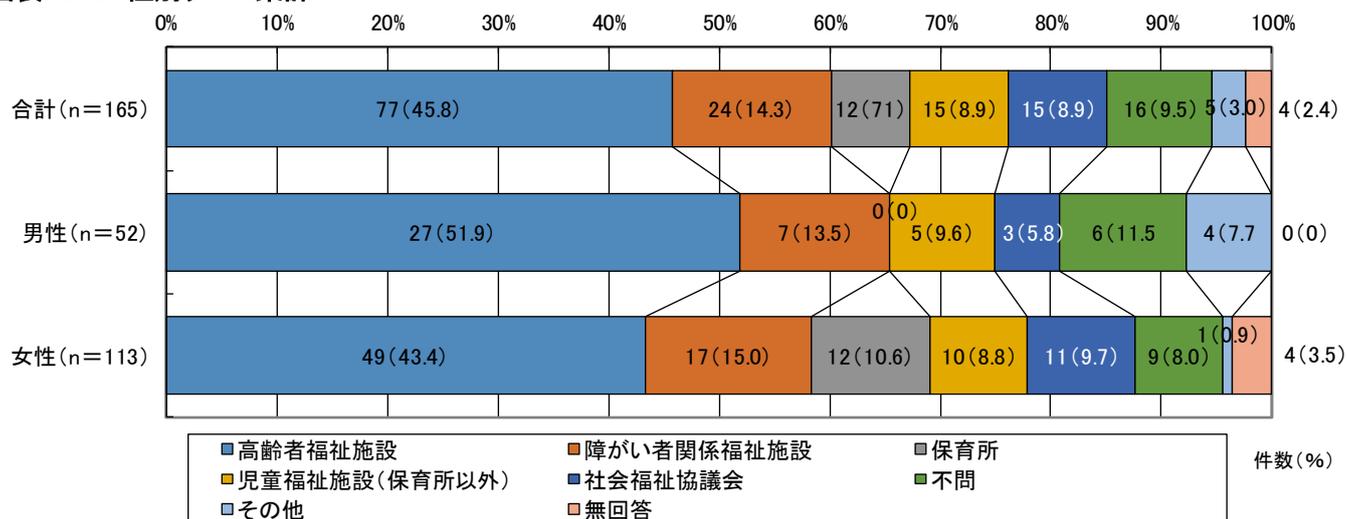
n=168
件数, (%)



(1つ選択の設問であるが、複数回答者があったため標本数が異なる)

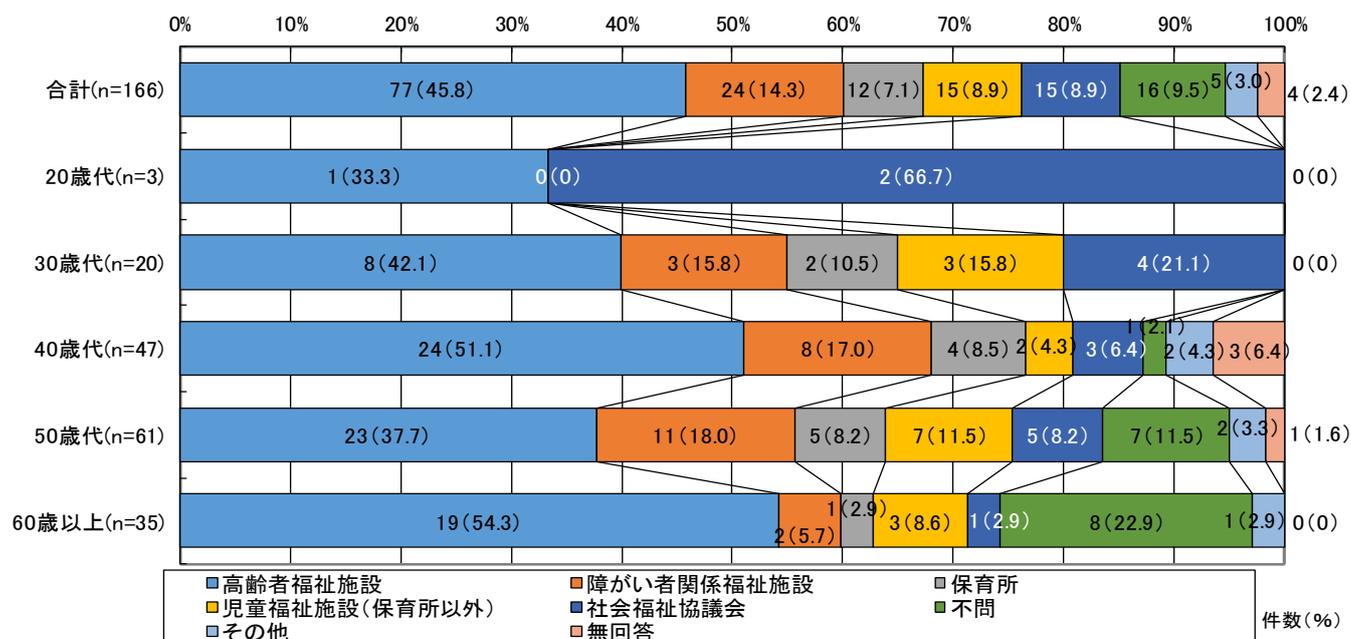
最も希望する福祉職場の分野については、「高齢者福祉施設」の割合が最も高かった。ついで「障がい者関係福祉施設」、「不問」の順であった。

図表 10-2 性別クロス集計



最も希望する福祉職場の分野を男女別にみると、男女ともに「高齢者福祉施設」の割合が高かった。女性では「保育所」希望も多い。

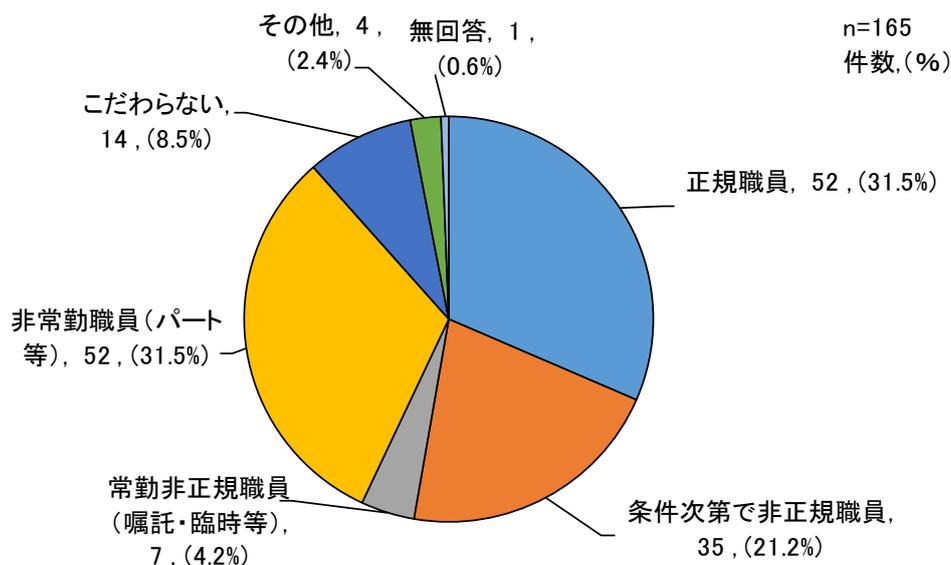
図表 10-3 年齢別クロス集計



最も希望する福祉職場の分野を年代別にみると、すべての年代で「高齢者福祉施設」の割合が高い。20歳代、30歳代では「社会福祉協議会」を希望する割合も高い。年齢が高くなるほど「不問」の割合が高くなる。

問 11 福祉の仕事をするうえで希望する雇用形態は？(○は1つ)

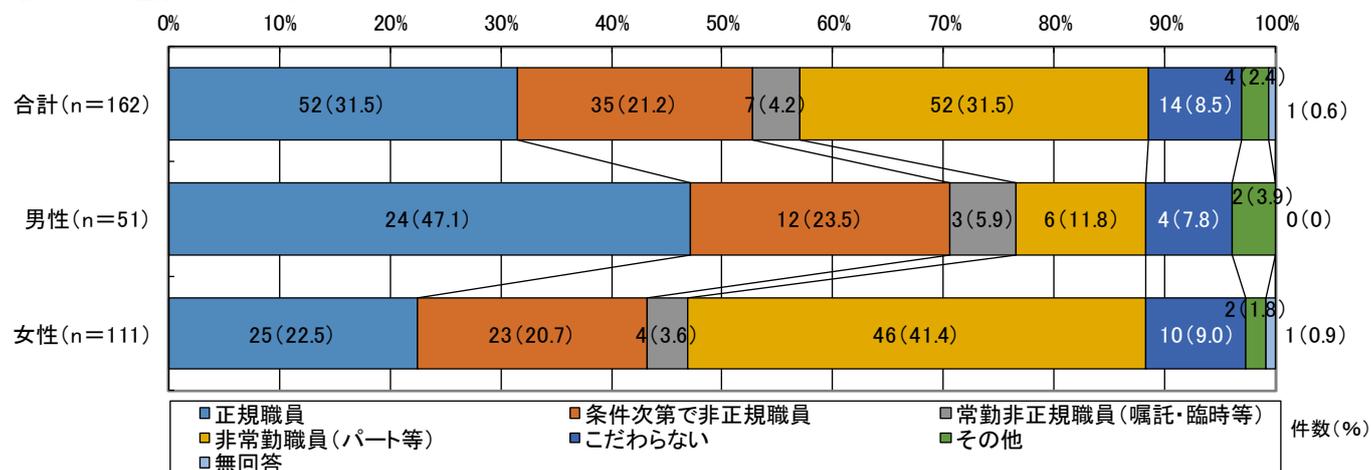
図表 11-1 単純集計



(1つ選択の設問であるが、複数回答者があったため標本数が異なる)

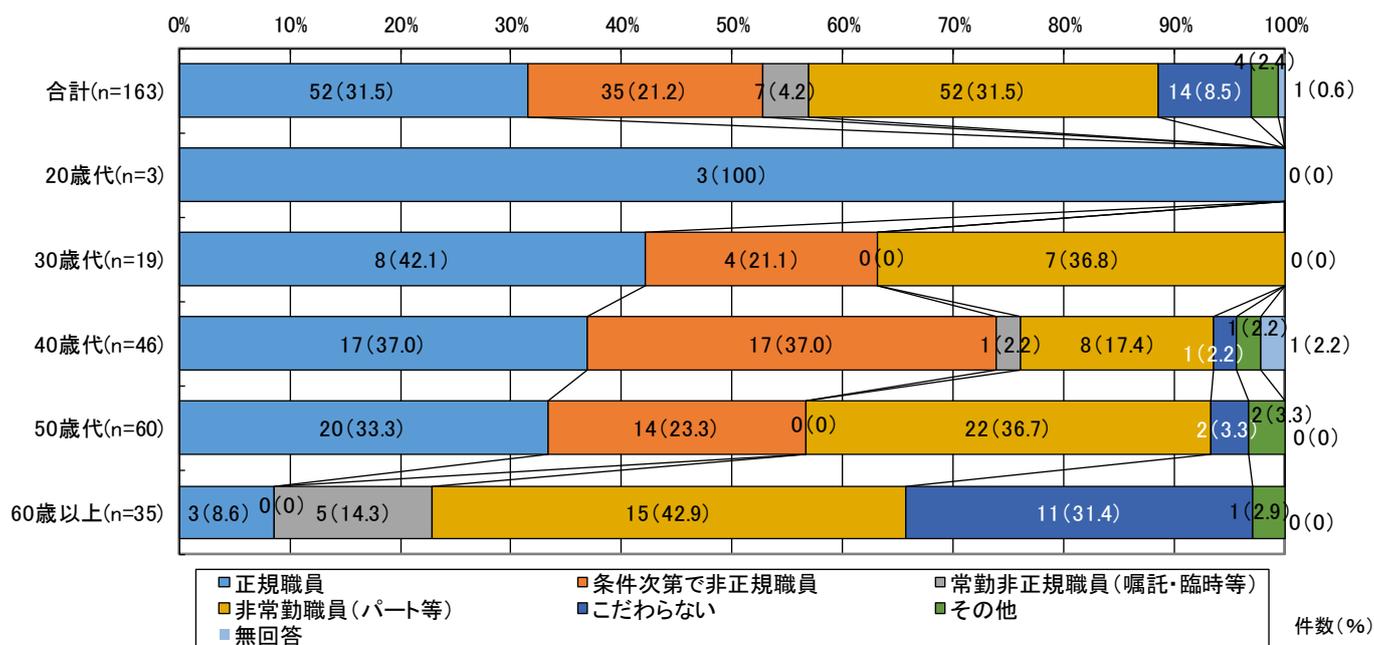
希望する雇用形態については「正規職員」と「非常勤職員(パート等)」が同じ割合で最も高かった。ついで「条件次第で非正規職員」となっている。なお、条件の内容としては、「勤務日数、時間、休日」、「経験や資格取得により正規職員への昇格」などがあつた。

図表 11-2 性別クロス集計



希望する雇用形態を男女別で見ると、男性は「正規職員」を希望する割合が最も高く、女性は「非常勤職員(パート等)」を希望する割合が最も高かった。

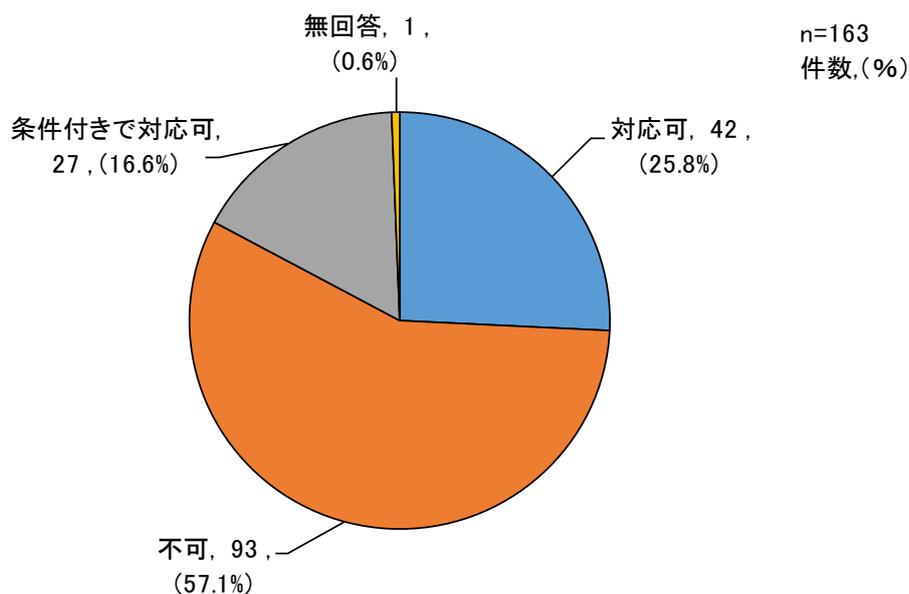
図表 11-3 年齢別クロス集計



希望する雇用形態を年代別で見ると、20歳代から40歳代にかけて「正規職員」を希望している割合が高いが、50歳代、60歳以上では、「非常勤職員(パート等)」を希望する割合が高くなっている。

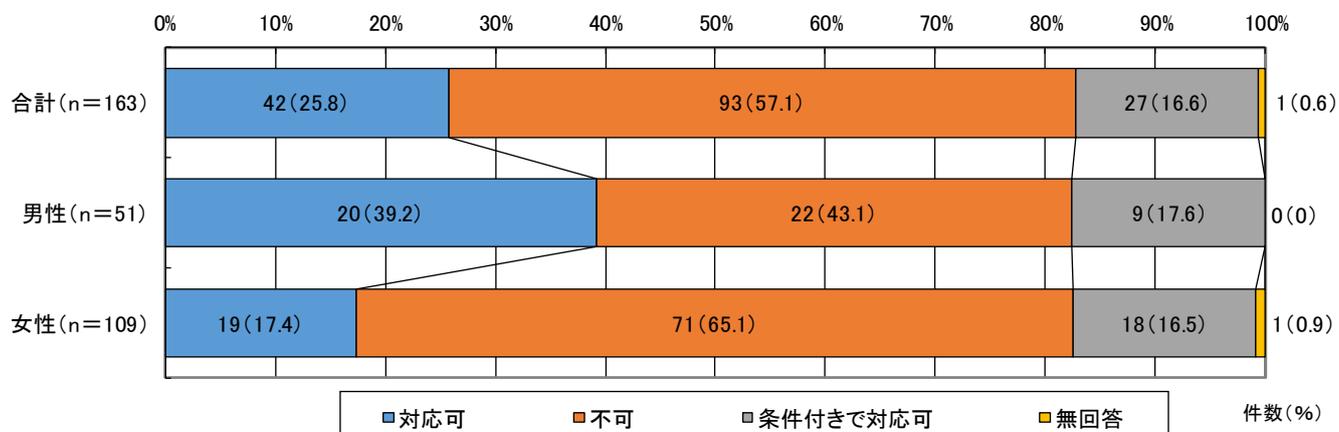
問 12 勤務形態に、夜勤・宿直がある場合の対応は？(○は1つ)

図表 12-1 単純集計



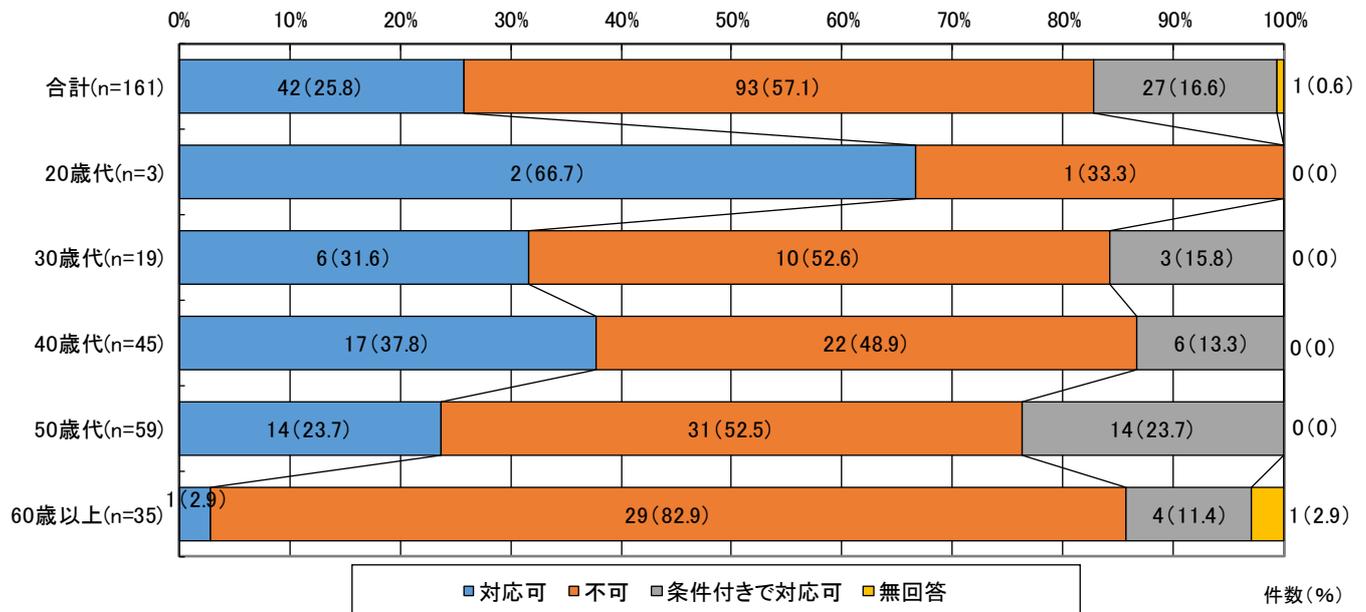
夜勤・宿直の対応については、半数以上が「不可」と回答した。また、条件付きの理由としては、「1 ヶ月(週)の回数」、「労働時間」があった。

図表 12-2 性別クロス集計



夜勤・宿直の対応について男女別にみると、男性に比べ女性が「不可」と答えている割合が高い。

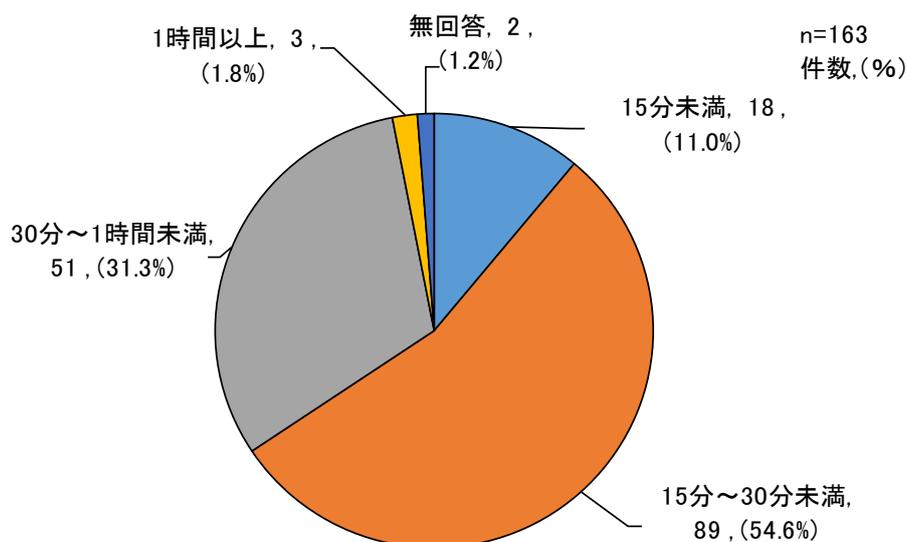
図表 12-3 年齢別クロス集計



夜勤・宿直の対応について年代別にみると、「対応可」と答えている割合は 20 歳代が最も高く、60 歳以上で最も低くなっている。

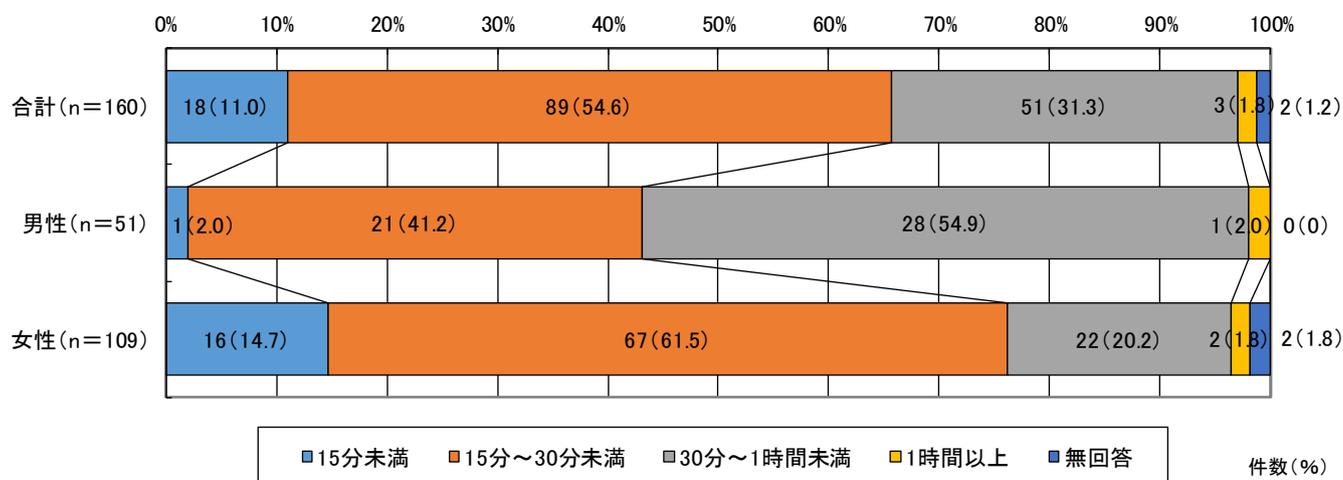
問 13 希望する(許容できる)通勤時間は？(○は1つ)

図表 13-1 単純集計



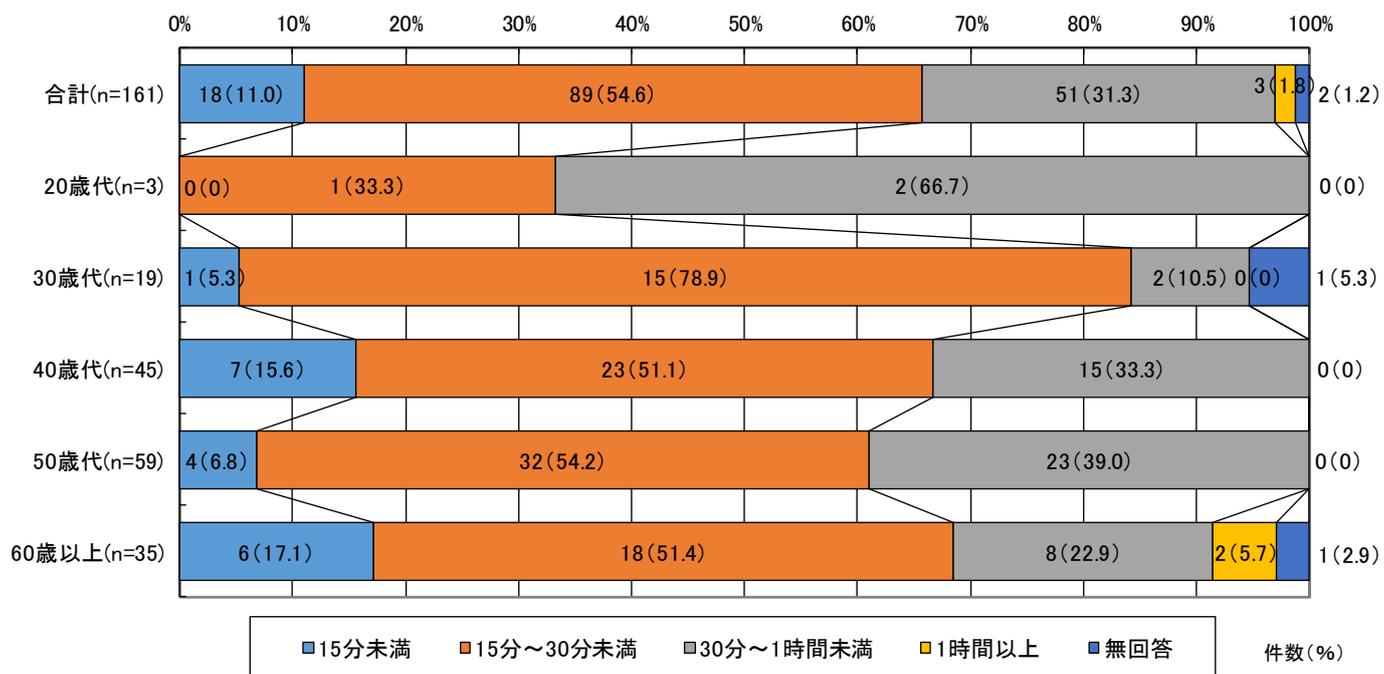
希望する(許容できる)通勤時間については「15分～30分未満」が半数以上を占めており、「30分～1時間未満」を合わせると約97%が1時間以内と回答した。

図表 12-2 性別クロス集計



希望する通勤時間を男女別で見ると、男性に比べ女性の方がより短時間での通勤時間を希望している割合が高い。

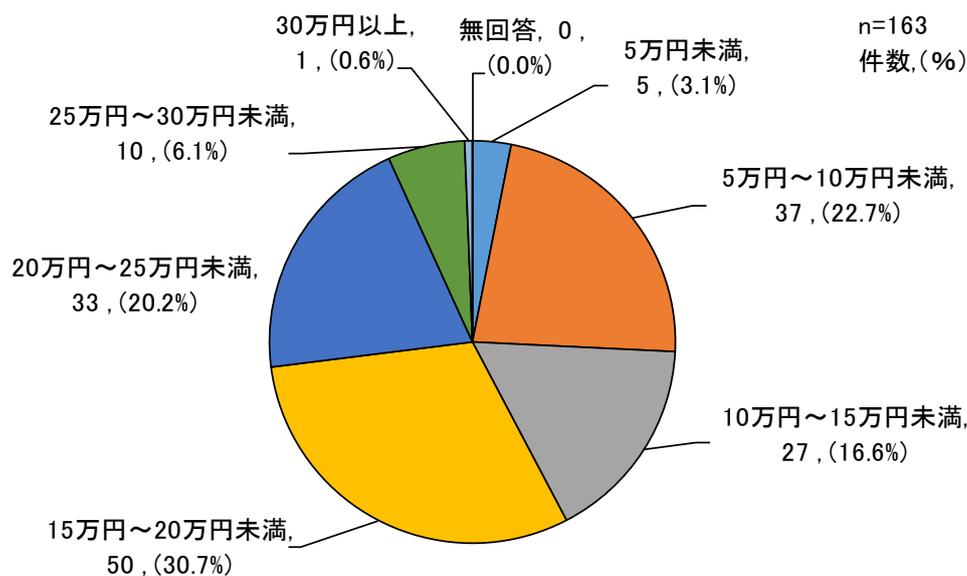
図表 13-3 年齢別クロス集計



希望する通勤時間を年代別で見ると、特に 30 歳代で 30 分未満での通勤を希望している割合が高い。

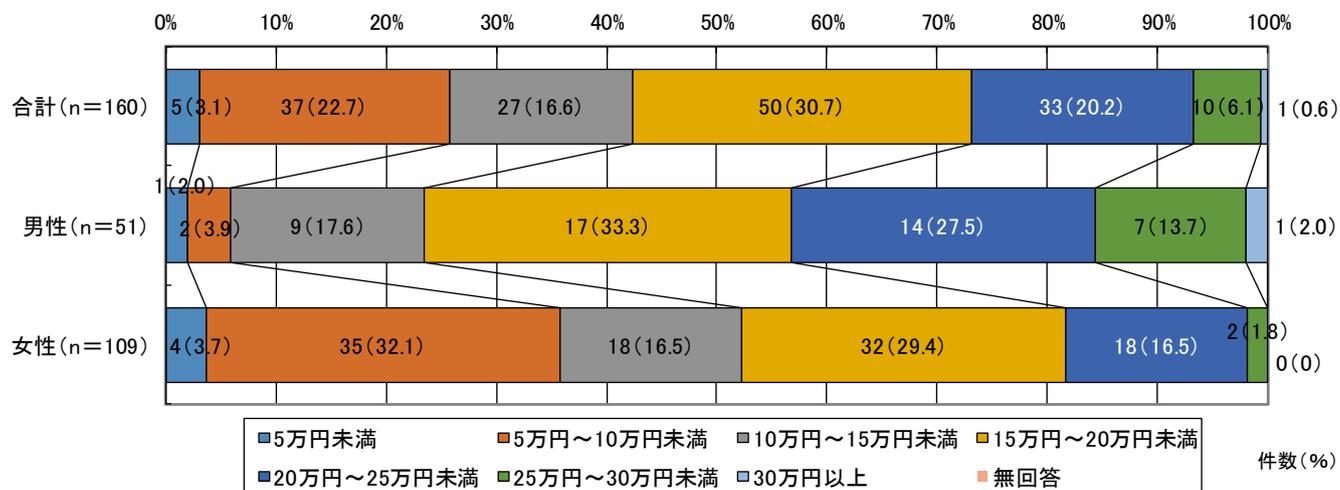
問 14 希望する賃金・月収<手取り>は？ (○は一つ)

図表 14-1 単純集計



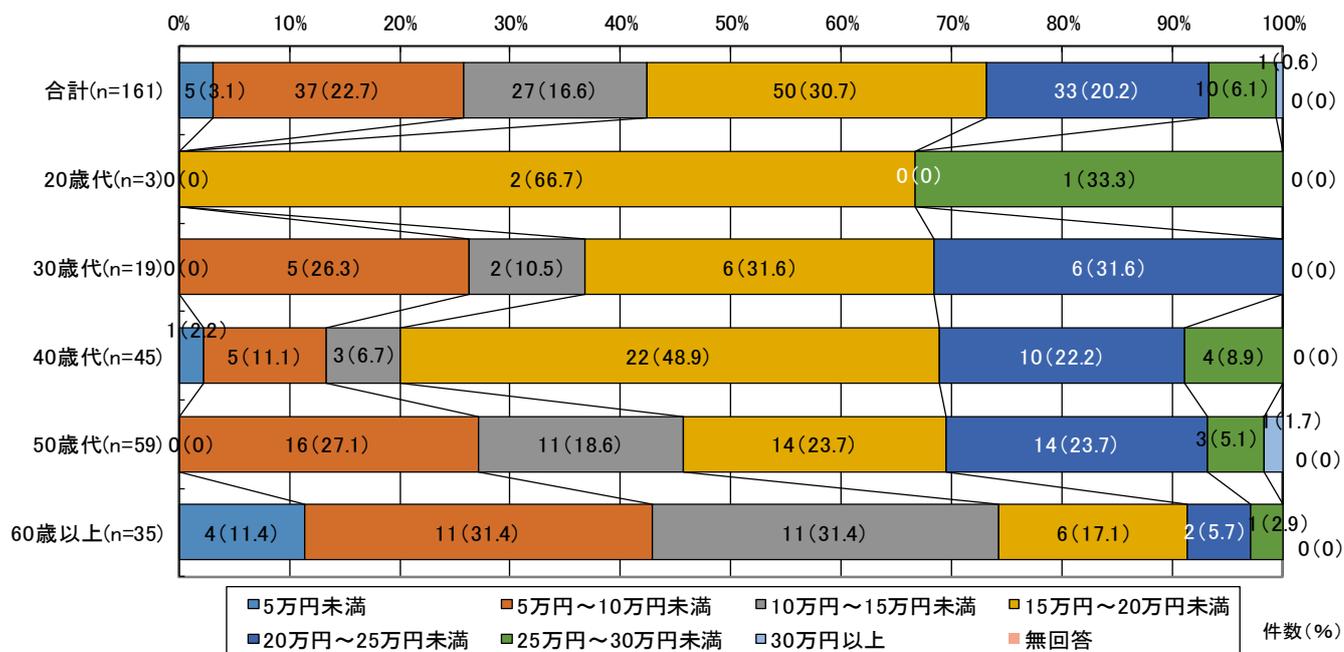
希望する賃金については「15万円～20万円未満」と答えた割合が最も高く、ついで「5万円～10万円未満」、「20万円～25万円未満」の順となった。

図表 13-2 性別クロス集計



希望する賃金について男女別にみると、女性に比べ男性の方が高い賃金を希望している割合が高い。

図表 14-3 年齢別クロス集計

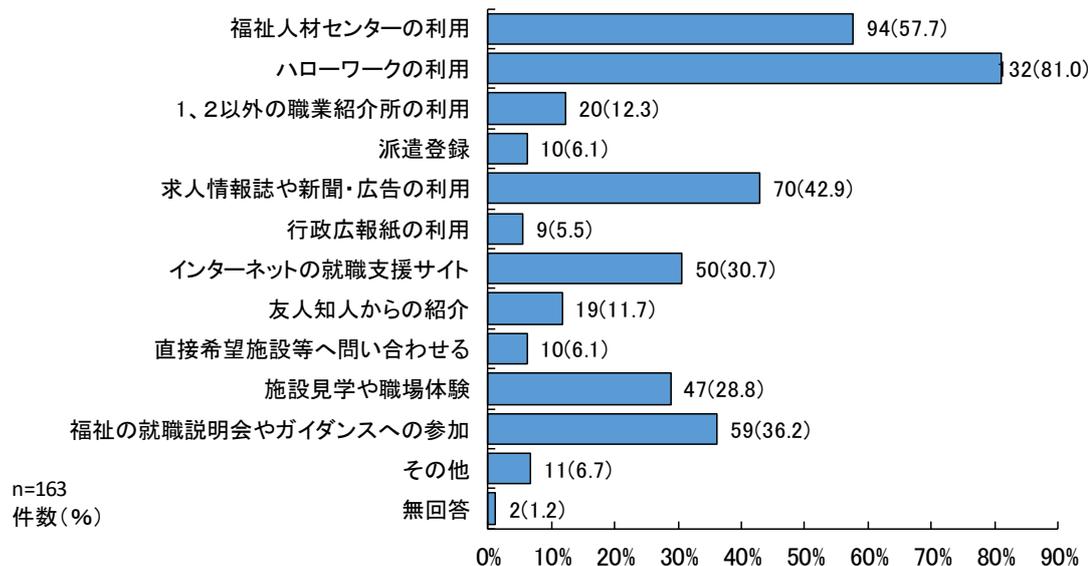


希望する貸金について年代別にみると、30歳代、40歳代では「15万円～25万円未満」の割合が最も高くなっているのに対し、50歳代以上では「5万円～10万円未満」の割合が最も高い。

問 15 どのような就職活動を行っているか？(〇はいくつでも)

<平成 30 年 4 月から現在までに行ったこと>

図表 15-1 単純集計



就職活動の方法については、「ハローワークの利用」が 81.0%と最も割合が高く、ついで「福祉人材センターの利用」、「求人情報誌や新聞・広告の利用」の順となった。

図表 15-2 性別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	福祉人材センターの利用	ハローワークの利用	1, 2以外の職業紹介所の利用	派遣登録	求人情報誌や新聞・広告の利用	行政広報紙の利用	インターネットの就職支援サイト	友人知人からの紹介	直接希望施設等へ問い合わせる
合計	160	94	132	20	10	70	9	50	19	10
	100.0	57.7	81.0	12.3	6.1	42.9	5.5	30.7	11.7	6.1
男性	51	30	41	6	4	21	5	15	4	4
	100.0	58.8	80.4	11.8	7.8	41.2	9.8	29.4	7.8	7.8
女性	109	61	88	14	5	48	4	34	15	5
	100.0	56.0	80.7	12.8	4.6	44.0	3.7	31.2	13.8	4.6

上段:度数 下段:%	施設見学や職場体験	福祉の面接会やガイダンスへの参加	その他	無回答
合計	47	59	11	2
	28.8	36.2	6.7	1.2
男性	18	22	7	2
	35.3	43.1	13.7	3.9
女性	28	37	4	-
	25.7	33.9	3.7	-

就職活動の方法について男女別にみると、男女ともに「ハローワークの利用」の割合が最も高く、ついで「福祉人材センターの利用」となった。

図表 15-3 年齢別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

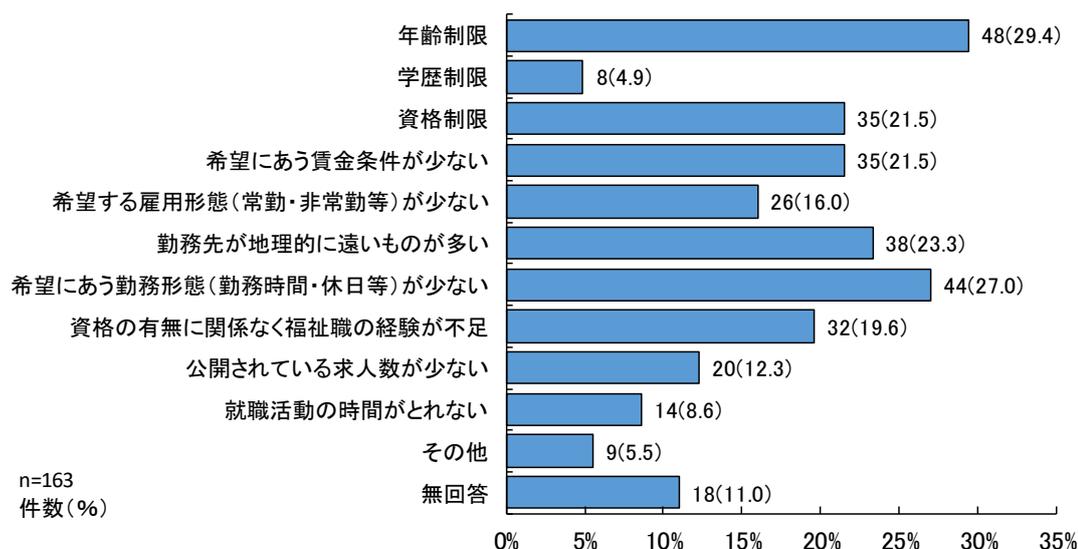
上段:度数 下段:%	合計	福祉人材 センターの 利用	ハローワーク の利用	1、2以外の 職業紹介所 の利用	派遣登録	求人情報誌 や新聞・ 広告の利用	行政広報誌 の利用	インターネット の就職支援 サイト	友人知人 からの紹介	直接希望施 設等へ問い 合わせる
合計	161	94	132	20	10	70	9	50	19	10
	100.0	57.7	81.0	12.3	6.1	42.9	5.5	30.7	11.7	6.1
20歳代	3	2	2	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	66.7	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-
30歳代	19	10	14	1	-	10	1	4	2	1
	100.0	52.6	73.7	5.3	-	52.6	5.3	21.1	10.5	5.3
40歳代	45	29	42	6	5	18	3	18	3	5
	100.0	64.4	93.3	13.3	11.1	40.0	6.7	40.0	6.7	11.1
50歳代	59	36	49	10	3	28	3	18	11	1
	100.0	61.0	83.1	16.9	5.1	47.5	5.1	30.5	18.6	1.7
60歳以上	35	17	24	2	1	12	2	7	3	2
	100.0	48.6	68.6	5.7	2.9	34.3	5.7	20.0	8.6	5.7

上段:度数 下段:%	施設見学や 職場体験	福祉の面接 会やガイダ ンスへの参加	その他	無回答
合計	47	59	11	2
	28.8	36.2	6.7	1.2
20歳代	-	1	1	-
	-	33.3	33.3	-
30歳代	8	8	-	-
	42.1	42.1	-	-
40歳代	17	19	4	-
	37.8	42.2	8.9	-
50歳代	16	18	4	1
	27.1	30.5	6.8	1.7
60歳以上	5	11	2	1
	14.3	31.4	5.7	2.9

就職活動の方法について年代別にみると、すべての年代で「ハローワークの利用」の割合が最も高く、ついで「福祉人材センターの利用」となった。30歳代では「求人情報誌や新聞・広告の利用」の割合も高かった。

問 16 現在、就職活動を行うにあたり困っていることは？（〇は3つまで）

図表 16-1 単純集計



就職活動するうえで困っていることについては、「年齢制限」があるとの割合が最も高く、ついで「希望にあう勤務形態(勤務時間・休日等)が少ない」となった。

図表 16-2 性別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	年齢制限	学歴制限	資格制限	希望にあう賃 金条件が 少ない	希望する雇 用形態(常 勤・非常勤 等)が 少ない	勤務先が地 理的に遠い ものが多い	希望にあう勤 務形態(勤 務時間・休 日等)が 少ない	資格の有無 に関係なく福 祉職の経験 が不足	公開されてい る求人数が 少ない	就職活動の 時間が とれない	その他	無回答
合計	160 100.0	48 29.4	8 4.9	35 21.5	35 21.5	26 16.0	38 23.3	44 27.0	32 19.6	20 12.3	14 8.6	9 5.5	18 11.0
男性	51 100.0	19 37.3	2 3.9	12 23.5	16 31.4	5 9.8	9 17.6	11 21.6	15 29.4	8 15.7	3 5.9	6 11.8	2 3.9
女性	109 100.0	29 26.6	5 4.6	22 20.2	17 15.6	21 19.3	28 25.7	33 30.3	17 15.6	12 11.0	11 10.1	3 2.8	16 14.7

就職活動するうえで困っていることについて男女別にみると、男性は「年齢制限」と答えた割合が最も高く、女性は「希望にあう勤務形態(勤務時間・休日等)が少ない」と答えた割合が最も高かった。

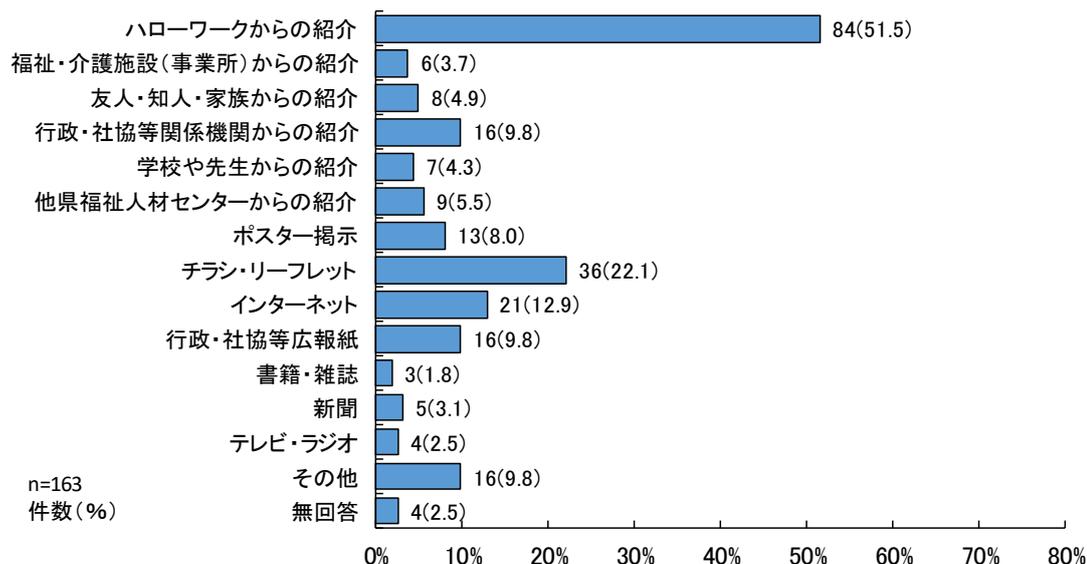
図表 16-3 年齢別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	年齢制限	学歴制限	資格制限	希望にあう賃 金条件が 少ない	希望する雇 用形態(常 勤・非常勤 等)が 少ない	勤務先が地 理的に遠い ものが多い	希望にあう勤 務形態(勤 務時間・休 日等)が 少ない	資格の有無 に関係なく福 祉職の経験 が不足	公開されてい る求人数が 少ない	就職活動の 時間が とれない	その他	無回答
合計	161 100.0	48 29.4	8 4.9	35 21.5	35 21.5	26 16.0	38 23.3	44 27.0	32 19.6	20 12.3	14 8.6	9 5.5	18 11.0
20歳代	3 100.0	- -	- -	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	1 33.3	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -
30歳代	19 100.0	1 5.3	- -	2 10.5	5 26.3	6 31.6	2 10.5	5 26.3	7 36.8	3 15.8	4 21.1	5 26.3	- -
40歳代	45 100.0	6 13.3	2 4.4	10 22.2	12 26.7	7 15.6	14 31.1	17 37.8	10 22.2	5 11.1	4 8.9	2 4.4	5 11.1
50歳代	59 100.0	22 37.3	5 8.5	13 22.0	13 22.0	8 13.6	16 27.1	14 23.7	8 13.6	8 13.6	4 6.8	2 3.4	7 11.9
60歳以上	35 100.0	18 51.4	1 2.9	8 22.9	4 11.4	5 14.3	5 14.3	7 20.0	5 14.3	2 5.7	- -	- -	6 17.1

就職活動するうえで困っていることについて年代別にみると、20歳代、30歳代では「資格の有無に関係なく福祉職の経験が不足」の割合が最も高く、40歳では「希望にあう勤務形態(勤務時間・休日等)が少ない」、50歳代、60歳以上で「年齢制限」と答えている割合が最も高かった。

問 17 福祉人材センターを知ったきっかけは？(主なもの3つに○)

図表 17-1 単純集計



福祉人材センターを知ったきっかけについては、「ハローワークからの紹介」の割合が最も高かった。

図表 17-2 性別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	ハローワーク からの紹介	福祉・介護 施設(事業 所)からの 紹介	友人・知人・ 家族からの 紹介	行政・社協 等関係機関 からの紹介	学校や先生 からの紹介	他県福祉人 材センターか らの紹介	ポスター掲示	チラシ・リーフ レット	インターネット	行政・社協 等広報紙
合計	160	84	6	8	16	7	9	13	36	21	16
	100.0	51.5	3.7	4.9	9.8	4.3	5.5	8.0	22.1	12.9	9.8
男性	51	26	4	2	6	4	5	5	12	10	8
	100.0	51.0	7.8	3.9	11.8	7.8	9.8	9.8	23.5	19.6	15.7
女性	109	57	2	6	10	3	4	7	23	11	8
	100.0	52.3	1.8	5.5	9.2	2.8	3.7	6.4	21.1	10.1	7.3

上段:度数 下段:%	書籍・雑誌	新聞	テレビ・ラジオ	その他	無回答
合計	3	5	4	16	4
	1.8	3.1	2.5	9.8	2.5
男性	1	1	2	6	2
	2.0	2.0	3.9	11.8	3.9
女性	2	4	2	9	2
	1.8	3.7	1.8	8.3	1.8

福祉人材センターを知ったきっかけについて男女別にみると、男女とも「ハローワークからの紹介」の割合が最も高かった。

図表 17-3 年齢別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

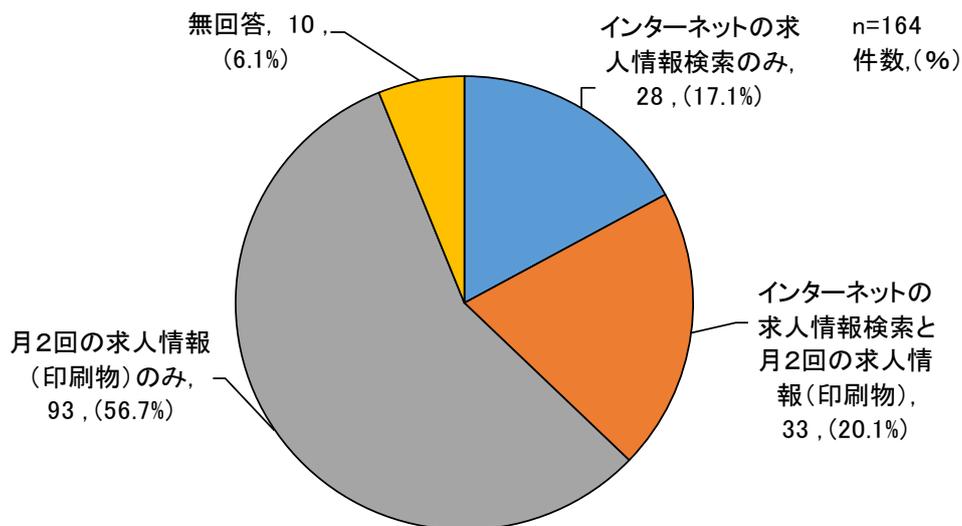
上段:度数 下段:%	合計	ハローワーク からの紹介	福祉・介護 施設（事業 所）からの 紹介	友人・知人・ 家族からの 紹介	行政・社協 等関係機関 からの紹介	学校や先生 からの紹介	他県福祉人 材センターか らの紹介	ポスター掲示	チラシ・リーフ レット	インターネット	行政・社協 等広報紙
合計	161 100.0	84 51.5	6 3.7	8 4.9	16 9.8	7 4.3	9 5.5	13 8.0	36 22.1	21 12.9	16 9.8
20歳代	3 100.0	1 33.3	-	-	-	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3	-
30歳代	19 100.0	8 42.1	-	3 15.8	1 5.3	-	-	1 5.3	2 10.5	4 21.1	3 15.8
40歳代	45 100.0	21 46.7	1 2.2	2 4.4	9 20.0	4 8.9	2 4.4	5 11.1	11 24.4	4 8.9	4 8.9
50歳代	59 100.0	31 52.5	4 6.8	2 3.4	2 5.1	3 1.7	1 6.8	4 6.8	14 23.7	8 13.6	6 10.2
60歳以上	35 100.0	23 65.7	1 2.9	1 2.9	3 8.6	1 2.9	1 2.9	3 8.6	7 20.0	3 8.6	2 5.7

上段:度数 下段:%	書籍・雑誌	新聞	テレビ・ラジオ	その他	無回答
合計	3 1.8	5 3.1	4 2.5	16 9.8	4 2.5
20歳代	-	-	-	1 33.3	-
30歳代	1 5.3	-	1 5.3	1 5.3	-
40歳代	-	2 4.4	-	6 13.3	-
50歳代	2 3.4	2 3.4	1 1.7	6 10.2	3 5.1
60歳以上	-	1 2.9	2 5.7	2 5.7	1 2.9

福祉人材センターを知ったきっかけについて年代別にみると、すべての年代で「ハローワークからの紹介」の割合が最も高かった。

問 18 福祉人材センターにおける求人情報の取得方法について？(○は1つ)

図表 18-1 単純集計

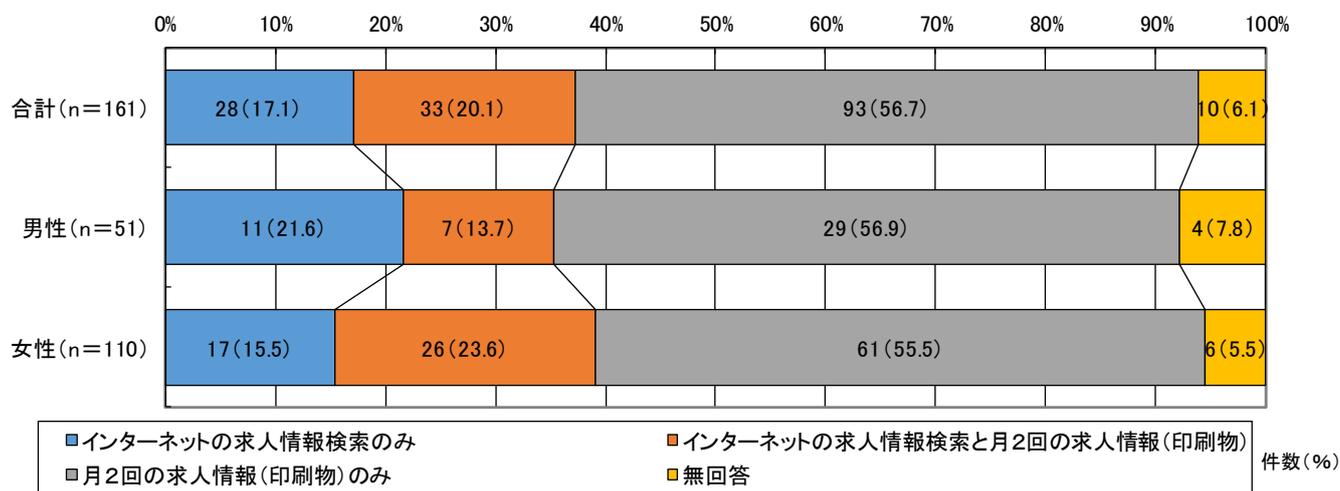


(1つ選択の設定問であるが、複数回答者があったため標本数が異なる)

福祉人材センターにおける求人情報の取得方法について、「月2回の求人情報(印刷物)のみ」という割合が56.7%と最も高かった。

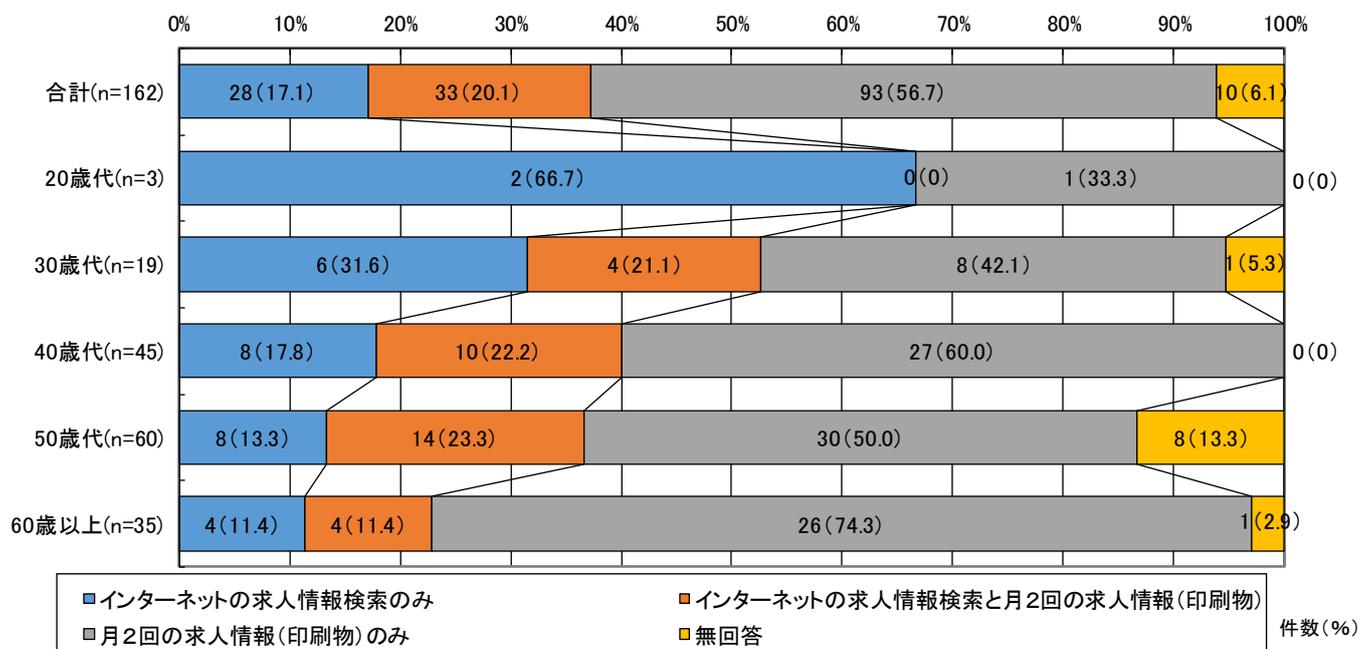
一方「インターネットの求人情報検索のみ」で取得している割合は2割弱となっている。

図表 18-2 性別クロス集計



福祉人材センターにおける求人情報の取得方法について男女別でも大きな違いはなかった。

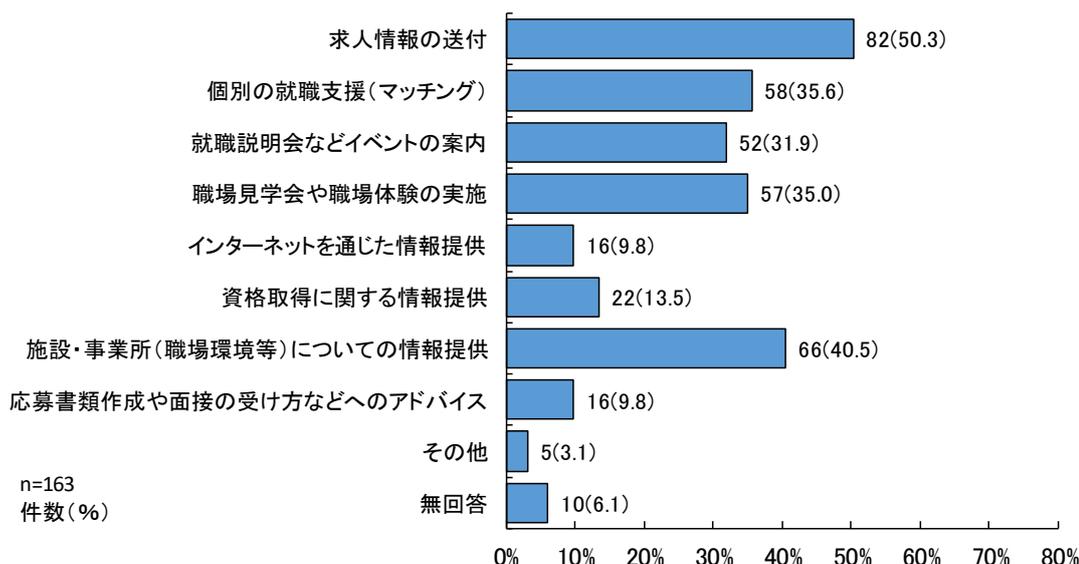
図表 18-3 年齢別クロス集計



福祉人材センターにおける求人情報の取得方法について年代別に見ると、併用も含めると30歳代以下ではインターネットが半数を超えている。一方で40歳代以上では印刷物による取得が半数を超えている。

問 19 福祉人材センターのサービスとして求めるものについて？（〇は3つまで）

図表 19-1 単純集計



福祉人材センターのサービスとして求めるものについては、「求人情報の送付」の割合が 50.3%と最も高く、ついで「施設・事業所(職場環境等)についての情報提供」、「個別の就職支援(マッチング)」の順となった。

図表 19-2 性別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	求人情報の送付	個別の就職支援(マッチング)	就職説明会などイベントの案内	職場見学会や職場体験の実施	インターネットを通じた情報提供	資格取得に関する情報提供	施設・事業所(職場環境等)についての情報提供	応募書類作成や面接の受け方などへのアドバイス	その他	無回答
合計	160	82	58	52	57	16	22	66	16	5	10
	100.0	50.3	35.6	31.9	35.0	9.8	13.5	40.5	9.8	3.1	6.1
男性	51	27	25	18	21	7	7	14	4	2	3
	100.0	52.9	49.0	35.3	41.2	13.7	13.7	27.5	7.8	3.9	5.9
女性	109	52	32	34	36	9	15	51	11	3	7
	100.0	47.7	29.4	31.2	33.0	8.3	13.8	46.8	10.1	2.8	6.4

福祉人材センターのサービスとして求めるものについて男女別でみると、男女とも「求人情報の送付」の割合が最も高く、ついで男性では「個別の就職支援(マッチング)」、女性では「施設・事業所(職場環境等)についての情報提供」であった。

図表 19-3 年齢別クロス集計 <最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■>

上段:度数 下段:%	合計	求人情報の送付	個別の就職支援(マッチング)	就職説明会などイベントの案内	職場見学会や職場体験の実施	インターネットを通じた情報提供	資格取得に関する情報提供	施設・事業所(職場環境等)についての情報提供	応募書類作成や面接の受け方などへのアドバイス	その他	無回答
合計	161	82	58	52	57	16	22	66	16	5	10
	100.0	50.3	35.6	31.9	35.0	9.8	13.5	40.5	9.8	3.1	6.1
20歳代	3	-	2	1	1	1	2	1	1	-	-
	100.0	-	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-
30歳代	19	8	10	5	5	3	4	10	2	1	-
	100.0	42.1	52.6	26.3	26.3	15.8	21.1	52.6	10.5	5.3	-
40歳代	45	26	20	11	15	4	6	21	4	4	-
	100.0	57.8	44.4	24.4	33.3	8.9	13.3	46.7	8.9	8.9	-
50歳代	59	32	19	22	27	3	6	22	4	-	6
	100.0	54.2	32.2	37.3	45.8	5.1	10.2	37.3	6.8	-	10.2
60歳以上	35	15	7	11	8	5	4	11	4	-	4
	100.0	42.9	20.0	31.4	22.9	14.3	11.4	31.4	11.4	-	11.4

福祉人材センターのサービスとして求めるものについて年代別に見ると、20歳代、30歳代では「個別の就職支援(マッチング)」の割合が最も高く、40歳代以上では「求人情報の送付」の割合が最も高かった。「施設・事業所(職場環境等)についての情報提供」はいずれの年代でも割合が高い。

問 20 福祉人材センターに対するご意見やご要望等についてご記入願います。

- ・ パートで働きたい人が多くいます。朝、夕、午前、午後など 2～5 時間働ければ良いと思いますので、情報をいただければありがたいです。
- ・ 求人情報の送付について大変役立ちました。しかし希望する勤務地での提供が少なく、結果的にハローワークの紹介での就職になったので、今後その点について改善していただければありがたいと思います。
- ・ 日帰り職場体験バスツアー参加の際はありがとうございました。とても参考になりました。これからも機会があれば参加します。
- ・ 大変な仕事をしているので頭が下がります。
- ・ ハローワークのように検索出来たら良いと思います。
- ・ 県外の人に対する貸与奨学金の額を遠方から来ている人にはもう少し上げるべきである。関東近県のみならず、西日本や北海道からも来やすくするべき。あと、家族加算などを設けてほしいです。単身の人はまだ良いとして、家族持ちや子供がいる人にとっては金銭面の負担は大きいと思います。あと、貸与だけでなくある一定の年数を働くことを条件に、給付型の奨学金も設けてほしいです。
- ・ 問 19 の⑦情報提供について、働いている職員の方の声が聞きたいです。(出来るだけ本声がいいですが…)陰口や暴言が上長に伝わるような施設なのか、管理体制がわかると嬉しいです。
- ・ 福祉に関する提供をこれからもお願いします。
- ・ 首都圏からの相双バスツアーに何度か参加させてもらっておりますが、時期がちょうど台風シーズンと重なることがあるので、なるべく避けてできればゴールデンウィーク前後などの天候が比較的安定したときにすると良いと思います。福島の土産ありがとうございました。
- ・ ジョブフェスタ会場の担当と施設見学時の現場担当者の方の温度差がありすぎて困惑してしまったこと。
- ・ 紹介を待っています。
- ・ 福祉人材センターのいわきに於ける相談会を通じ、当センターのスタッフの方々のご情報により、今回、高齢者対象の説明会に参加して、幸に地元での福祉施設との面接に臨み、採用を得ました。アルバイトではありますが、健康保険料のUP、介護保険料のUPと、年金より引かれる金額は多く、年金でのリスクは増加して苦しい状態で、人生のスキルアップでの負担も困難です。年金+アルバイト料で生活維持を計画しており、今回、月収は少ないですが、就労のチャンスを得ました。ありがとうございました。
- ・ 今年 5 月だったと思うのですが、貴所の説明会を受け求人情報を送付していただきました。その後個人で事業できるセミナーを受け資格を取得したものの、実際には事業を起すことができず、インターネットで事業所の本社を調べてみると評判が良くなく(扱っている商品等)これはできないなと思い、ハローワークで福祉関係の仕事の説明を受けましたが、就職受験の面接が遅れ、再就職が出来ませんでした。再度、貴所の福祉の仕事で紹介させていただきたいと思います。よろしくお願いします。
- ・ 現実的に県外からの住む場所等の生活の内容が分からない。高い家賃なのか安い家賃なのか、もし子供とって家族と住める場所があるかなど、資格については介護なので最低でも初任者はもっている。しかしそれでステップアップするより別資格、例えばデイサービス機能訓練など、柔道整復師でもできるぼしゅうが少ない。
- ・ 本当にいつもお世話になります。現在在職中(福祉)ですが、自分の中での転職の検討と次のステップへの第一歩がなかなか踏み出せずにおり、御センター様の情報や相談等の支援がどれだけ心の支えになっているか。本当に感謝しています。いつも心のよりどころになっています。今後も自分の中で悩み、考えの中で立ち止まったときは、その都度相談等でお世話になるかと思えます。その時はよろしく願い致します。又、職員さんもこれから冬となり寒くなる時期ですので、身体等に体調等、注意してお過ごしください。
- ・ 県外にもかかわらず、いつも親切に対応してくださり大変助かっています。
- ・ 現状の活動でも問題はないと思うが、職業訓練校への訪問や案内等が増えれば、介護職を目指す方などの話(不

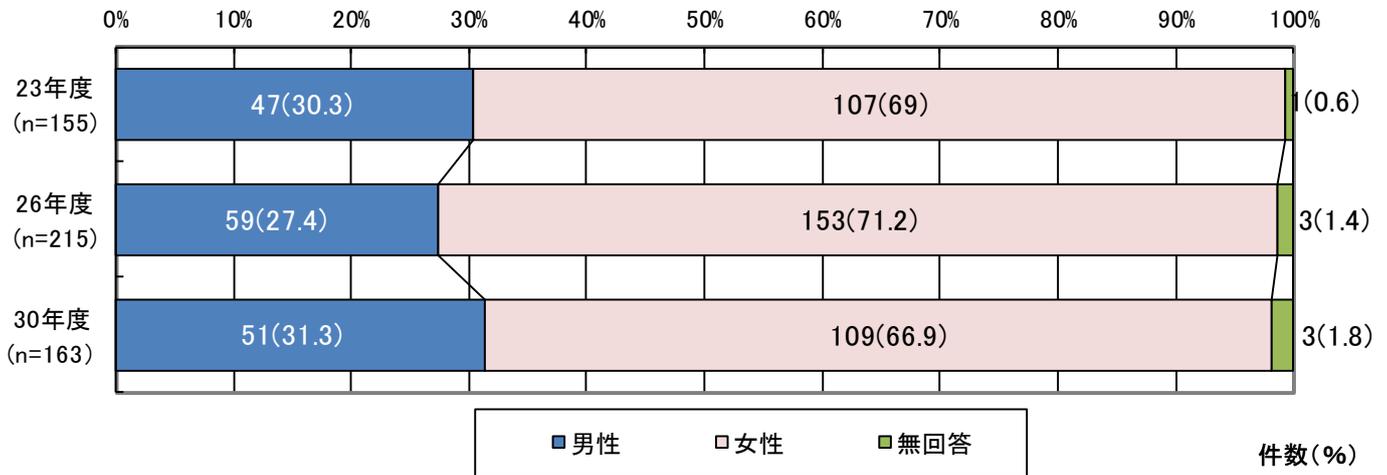
安であったり職場に関することであったり等含む)がもっと聞けるのではないか。

- ・ 窓口で親切丁寧に相談にのっていただいたので、前向きに活動を始めることができました。体験見学の実施先があることや、何か所体験しても失礼に当たらないので大丈夫など、こちらが安心できる言葉をもらえて体験を2ヵ所することができました。体験する前よりも前向きな気持ちで就職活動に臨んでいます。ありがとうございます。
- ・ 定期的に合同説明会等開催していただき、且つ連絡・案内等をしていただきありがとうございました。就職してからも定期的に福祉業種の案内や連絡等できるならば継続していただけると助かります。
- ・ 印刷物での情報送付は、送付しなくて結構です。インターネットやハローワークを活用していますから。何回も送付いただきありがとうございました。
- ・ 市町村の求人情報の入手が難しいので、よろしくお願いします。(臨時職員の募集等)
- ・ セミナー(福祉・介護の仕事を知ろう)に参加しました。高齢者向け介護のイメージのみでしたが、セミナーで各種の福祉サービスを知り今後の就職に役立てたいと思います。ありがとうございました。
- ・ いろいろ情報提供していただき感謝しております。やはり「年齢制限なし」となっておりましたが、人材センターを通す前に電話で伺いますと、制限ありますとの返答が多々あり、途中で諦めたことがありました。ともかくも社協様に礼を述べさせていただきます。

IV 過去の調査との比較結果

問1 あなたの「性別」は？(○は1つ)

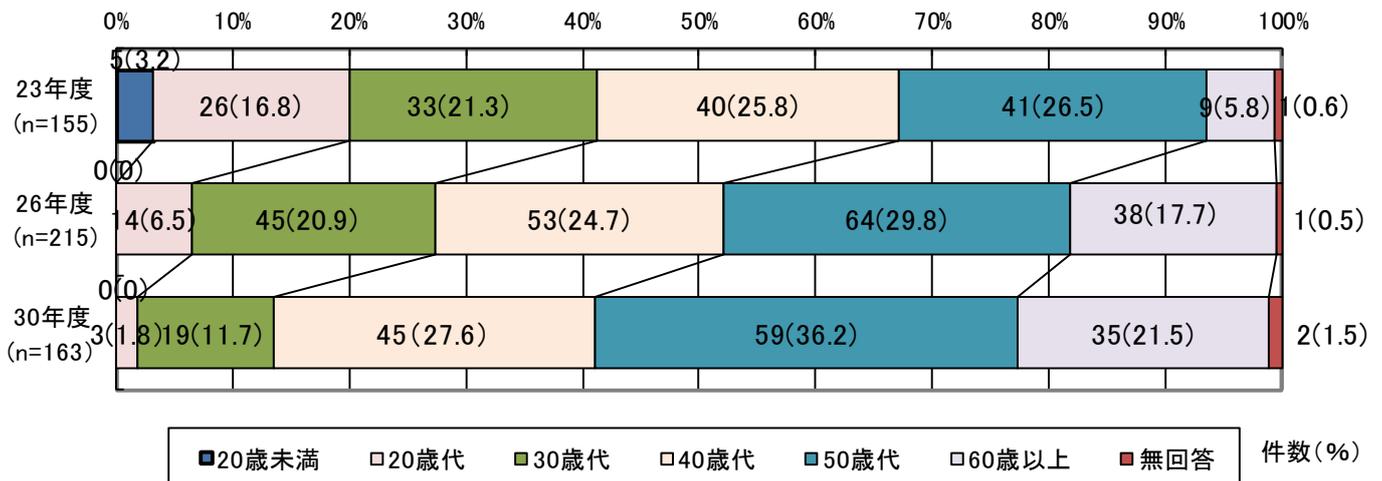
図表1



対象者の男女の比率についてはどの調査でも女性の方が多く、約7割程度となっている。

問2 あなたの「満年齢」は？(○は1つ)

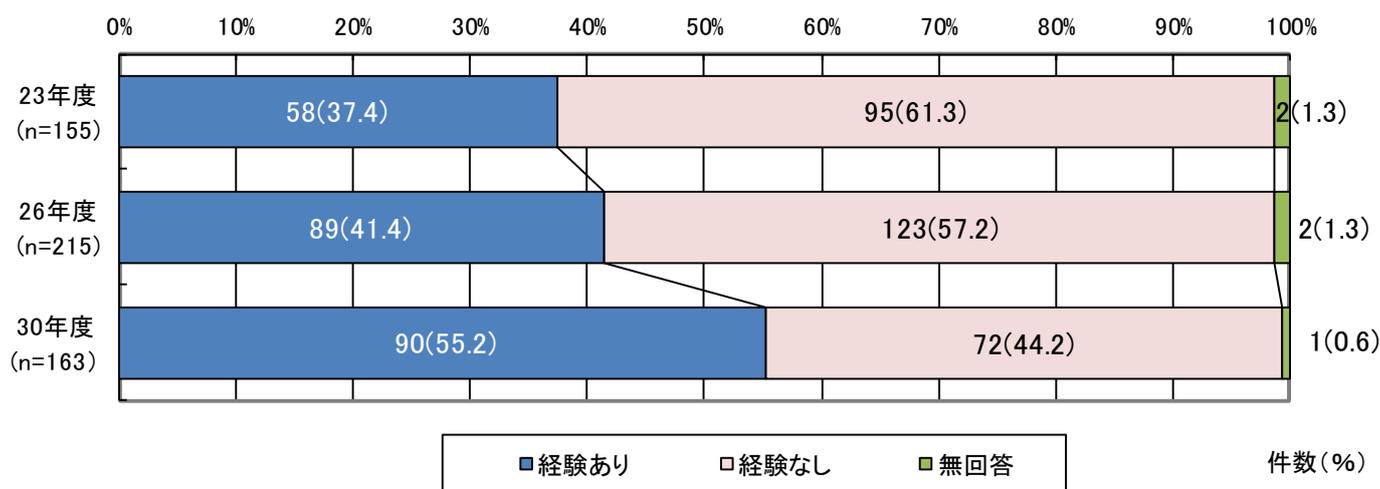
図表2



対象者の年齢構成については年齢が徐々に高くなってきており、特に20歳代が少なく、50歳以上の登録者が増えている。

問 5 福祉分野における勤務経験は？(○は1つ)

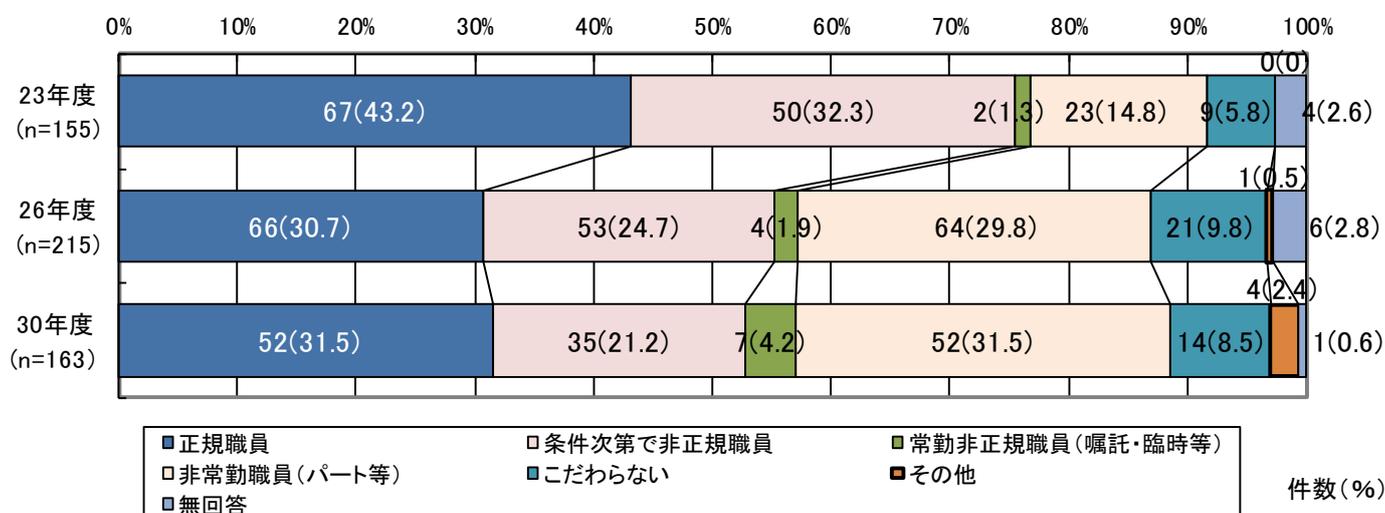
図表 5



福祉分野における勤務経験を比較すると、徐々に「経験あり」と答えた割合が増えている。

問 11 福祉の仕事をするうえで希望する雇用形態は？(○は1つ)

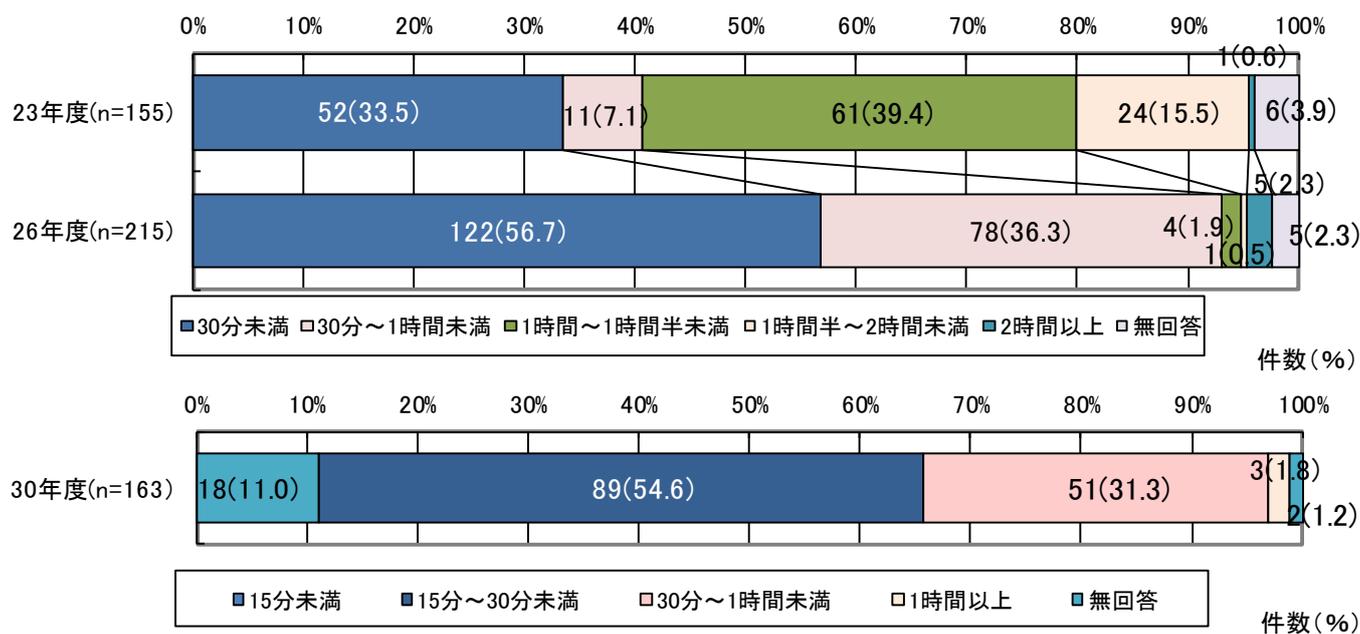
図表 11



希望する雇用形態を比較してみると、「非常勤職員(パート等)」、「常勤非正規職員(嘱託・臨時等)」を希望する割合が徐々に増えている。

問 13 希望する(許容できる)通勤時間は？(○は1つ)

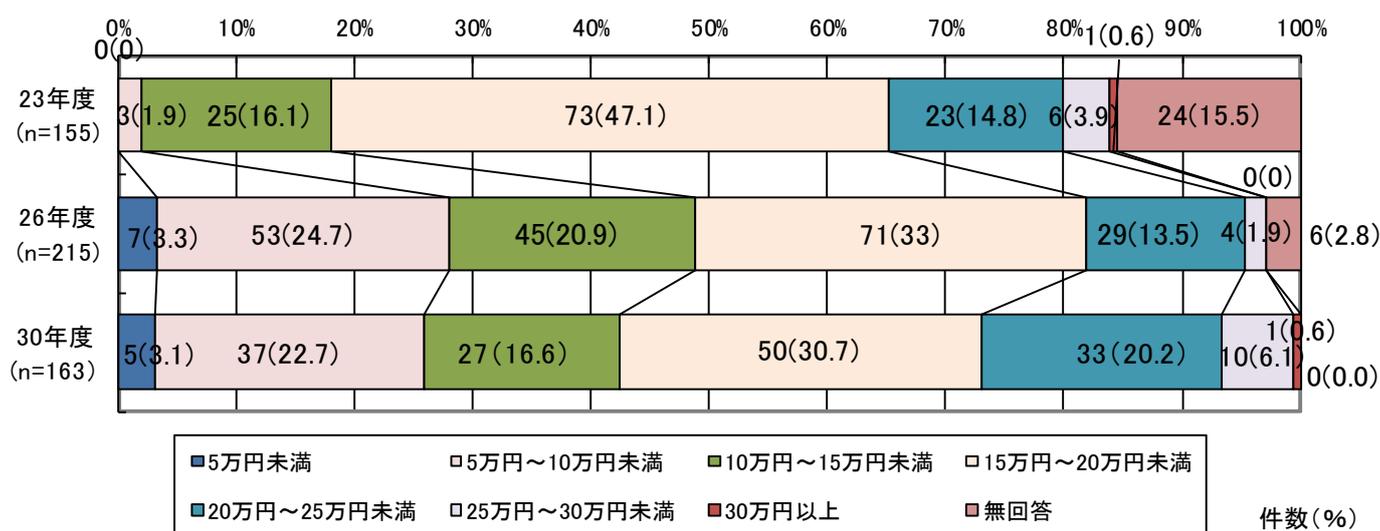
図表 13



短時間での通勤希望者が増えており、今回調査では15分未満も回答に加えた。30分未満の通勤時間を希望する割合が6割以上となっている。

問 14 希望する賃金・月収<手取り>は？(○は1つ)

図表 14



希望する賃金・月収については、26年度同様「5万円未満」、「5万円~10万円未満」を希望する求職者が平成23年度より大幅に増えている一方、「20万円~25万円未満」、「25万円~30万円未満」を希望する求職者も増えている。

問8 福祉分野での就職に関心を持った理由は？（○は3つまで）

- 1 生きがい・社会参加となる
- 2 やりがいのある仕事である
- 3 人や社会に役立つ仕事がしたい
- 4 知識・技能を身につけたい
- 5 これからの時代に必要な仕事である
- 6 仕事に将来性がある
- 7 労働環境(勤務時間や休日等)に魅力がある
- 8 資格・技能を生かせる
- 9 自分に適した仕事だと思った
- 10 家計を維持するため
- 11 給与(賃金)や労働条件がよい
- 12 他により仕事がなかった
- 13 周囲の人の勧め
- 14 以前勤めていたことがある
- 15 その他 ()

問9 就職先を選ぶ上で「重視」することは？（1～22のうち○は5つまで）

<労働条件について>

- 1 賃金・賞与額
- 2 勤務日数・労働時間
- 3 休日・休暇日数
- 4 勤務時間帯・曜日
- 5 福利厚生
- 6 通勤距離、通勤の便利さ
- 7 雇用形態(正規職員、パート等)
- 8 社会保険加入の有無

<仕事について>

- 9 仕事の内容
- 10 自分が持つ能力や資格を活かせること
- 11 昇進の見込みがある
- 12 研修体制が整備されている(資格や技能を身につけられる)

<勤め先について>

- 13 経営形態(社会福祉法人等)
- 14 法人や事業所の運営方針
- 15 安定性・将来性
- 16 経営者や施設長の人柄
- 17 法人や事業所の規模
- 18 新規に開設される施設・事業所であること
- 19 職場の人間関係や雰囲気
- 20 離職率
- 21 採用時の選考方法
- 22 その他 ()

問10 あなたが最も希望する福祉職場の分野は？（○は1つ）

- 1 高齢者福祉施設
- 2 障がい者関係福祉施設
- 3 保育所
- 4 児童福祉施設(保育所以外)
- 5 社会福祉協議会
- 6 不問
- 7 その他 ()

問11 福祉の仕事をするうえで希望する雇用形態は？（○は1つ）

- 1 正規職員を希望する
- 2 第一希望は正規職員であるが、条件によっては非正規職員でもよい
(※条件:)
- 3 常勤の非正規職員(嘱託・臨時等)を希望する
- 4 非常勤職員(パート等)を希望する
- 5 雇用形態にはこだわらない
- 6 その他 ()

問12 勤務形態に、夜勤・宿直がある場合の対応は？（○は1つ）

- 1 夜勤・宿直も対応可
- 2 夜勤・宿直は不可
- 3 条件付きで対応可(※条件:)

問13 希望する(許容できる)通勤時間は？（○は1つ）

- 1 15分未満
- 2 15分～30分未満
- 3 30分～1時間未満
- 4 1時間以上

問14 希望する賃金・月収<手取り>は？（○は1つ）

- 1 5万円未満
- 2 5万円～10万円未満
- 3 10万円～15万円未満
- 4 15万円～20万円未満
- 5 20万円～25万円未満
- 6 25万円～30万円未満
- 7 30万円以上

- 問15 どのような就職活動を行っているか？（○はいくつでも）〈平成30年4月から現在までに行ったこと〉
- 1 福祉人材センターの利用
 - 2 ハローワークの利用
 - 3 1、2 以外の職業紹介所の利用
 - 4 派遣登録
 - 5 求人情報誌や新聞・広告の利用
 - 6 行政広報紙の利用
 - 7 インターネットの就職支援サイト
 - 8 友人・知人からの紹介
 - 9 直接希望施設等へ問い合わせる
 - 10 施設見学や職場体験
 - 11 福祉の就職説明会やガイダンスへの参加
 - 12 その他（ ）

- 問16 現在、就職活動を行うにあたり困っていることは？（○は3つまで）
- 1 年齢制限がある
 - 2 学歴の制限がある
 - 3 資格の制限がある
 - 4 希望にあう賃金条件が少ない
 - 5 希望する雇用形態（常勤・非常勤等）が少ない
 - 6 勤務先が地理的に遠いものが多い
 - 7 希望にあう勤務形態（勤務時間・休日等）が少ない
 - 8 資格の有無に関係なく福祉職の経験が不足
 - 9 公開されている求人数が少ない
 - 10 就職活動の時間がとれない
 - 11 その他（ ）

- 問17 福祉人材センターを知ったきっかけは？（主なもの3つに○）
- 1 ハローワークからの紹介
 - 2 福祉・介護施設（事業所）からの紹介
 - 3 友人・知人・家族からの紹介
 - 4 行政・社協等関係機関からの紹介
 - 5 学校や先生からの紹介
 - 6 他県福祉人材センターからの紹介
 - 7 ポスター掲示
 - 8 チラシ・リーフレット
 - 9 インターネット
 - 10 行政・社協等広報紙
 - 11 書籍・雑誌
 - 12 新聞
 - 13 テレビ・ラジオ
 - 14 その他（ ）

- 問18 福祉人材センターにおける求人情報の取得方法について？（○は1つ）
- 1 インターネットの求人情報検索のみ利用
 - 2 インターネットの求人情報検索と月2回の求人情報（印刷物）の利用
 - 3 月2回の求人情報（印刷物）のみを利用

- 問19 福祉人材センターのサービスとして求めるものは？（○は3つまで）
- 1 求人情報の送付
 - 2 個別の就職支援（マッチング）
 - 3 就職説明会などイベントの案内
 - 4 職場見学会や職場体験の実施
 - 5 インターネットを通じた情報提供
 - 6 資格取得に関する情報提供
 - 7 施設・事業所（職場環境等）についての情報提供
 - 8 応募書類作成や面接の受け方などへのアドバイス
 - 9 その他（具体的に： ）

- 問20 福祉人材センターに対するご意見やご要望等についてご記入願います。

ご協力ありがとうございました。

平成30年度
福祉職場への就職希望者意向調査
報告書

発行:平成31年3月
発行者:社会福祉法人福島県社会福祉協議会
人材研修課 福祉人材センター
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
(福島県総合社会福祉センター内)
電話 024-521-5662 Fax 024-521-5663
<http://www.fukushimakenshakyo.or.jp>
E-mail:jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

集計:タカラ印刷株式会社
〒960-8141 福島市渡利字絵馬平86-9
電話 024-526-4303 Fax 024-526-4302